

# 埼玉病薬

Vol.31 No.3 2024

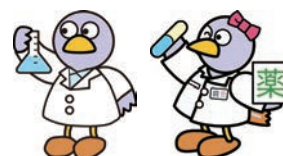


IMS（イムス）グループ 医療法人社団明理会 イムス富士見総合病院



一般社団法人

埼玉県病院薬剤師会

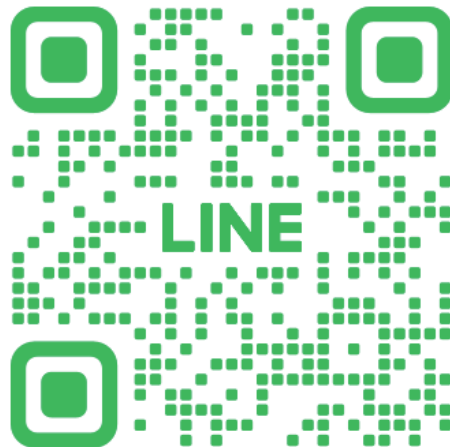




# 埼玉県病院薬剤師会 公式LINEアカウント

埼玉県病院薬剤師会、公式LINEアカウントを立ち上げました。研修会に関するお知らせを毎月配信しています。

是非ご登録ください。



広報のご依頼も受け付けております。

広報委員会メールアドレス：  
saibyoyaku.kouhou@outlook.jp

# 目 次

## 【巻頭言】

日々の業務の振り返り

埼玉県病院薬剤師会 理事

越谷市立病院 薬剤科 中田 和宏…………… 1

## 【会員のひろば】

能登半島地震 JMAT 災害派遣医療チーム活動報告

川口市立医療センター 薬剤部 田村 賢士…………… 2

＜医療の質・安全部会から＞

安全な薬物治療で国民の期待に応えよう！

AMG 上尾中央医科グループ協議会 増田 裕一…………… 6

## 【薬局業務紹介】

IMS（イムス）グループ医療法人社団明理会

イムス富士見総合病院 薬剤部の業務紹介

イムス富士見総合病院 薬剤部 上野 拓…………… 8

【会のうごき】…………… 13

【総会報告】…………… 17

令和5年度臨時総会議事録（2024/3/12）

令和6年度通常総会議事録（2024/5/14）

【理事会開催報告】…………… 22

令和5年度第6回理事会議事録（2024/2/20）

令和6年度第1回理事会議事録（2024/4/25）

令和6年度第2回理事会議事録（2024/5/14）

【委員会開催報告】…………… 30

第3回総務委員会議事録（2/29）

令和6年度新年会報告（1/16）

第1回選挙管理委員会議事録（3/15）

第2回選挙管理委員会議事録（4/22）

第8～9回広報委員会議事録（12/1、12/28）

第4～5回薬事運営・実習教育委員会合同会議事録（2/9、2/29）

- 第4回中小病院・診療所委員会議事録 (1/30)  
 感染対策委員会による「埼玉県における感染制御に関する認定取得状況に  
 関するアンケート結果」 (2/7)  
 第54回関ブロ第2～3回プログラム委員会議事録 (1/18、2/6)  
 第54回関ブロ第11～14回準備実行委員会議事録 (1/23、2/13、3/5、4/16)

<b>【生涯研修センター報告】</b> .....	62
第76～77回評価委員会議事録 (1/26、3/19)	
第31回総合研修部会議事録 (2/29)	
第39～40回地域研修部会議事録 (2/2、2/29)	
第7回特別対策委員会 (2/29)	
第36～37回がん領域研修部会 (2/7、2/29)	
第20回感染制御領域研修部会議事録 (2/29)	
第29回糖尿病領域研修部会議事録 (2/29)	
第26回緩和医療領域療研修部会 (2/29)	
第39～41回精神科領域研修部会議事録 (9/7、12/22、2/29)	
第9回妊婦授乳婦・小児科領域研修部会議事録 (2/29)	
第138～140回輸液・栄養管理研修部会議事録 (10/30、12/21、2/29)	
第39回医療の質・安全領域委員会議事録 (2/29)	
<b>【事務局だより】</b> .....	88
<b>【お知らせ】</b> .....	89
<b>【原稿募集】</b> .....	91
<b>【編集後記】</b> .....	92

日々の業務の振り返り

埼玉県病院薬剤師会 理事  
越谷市立病院 薬剤科  
中田 和宏

令和6年5月の通常総会にて理事に信任されました越谷市立病院の中田和宏と申します。埼玉県病院薬剤師会のために尽力して参りますのでよろしくお願い致します。

本年6月に診療報酬の改定が行われ、それに合わせた対応に追われている又は追われたご施設も多いと思います。今回の改定において私は特になんがん薬物療法体制充実加算が新設されたことを嬉しく感じています。個人的な話になりますが、私は本年で病院薬剤師として勤務して17年目になります。入職して2年が経過したころ外科病棟を担当したことをきっかけに癌の薬物治療に携わるようになり、日本病院薬剤師会のがん薬物療法認定薬剤師の取得をはじめ、現在まで院内の癌関連業務の多くに携わってきました。私が病棟薬剤師を始めた頃にはすでに多くの施設で薬剤師が癌患者の薬物治療について医師のサポートを行っており、薬剤師が介入することでリスクの高い抗がん剤治療がより安全にそして効果的に行えることが認識されて始めた時期でもありました。その数年後には外来化学療法を実施する患者に対して薬剤師が医師の診察前に介入を行い、副作用の評価を通じて治療の実施の可否や支持療法の処方支援を行う、いわゆる「薬剤師外来」の取り組みが報告され、全国的にその業務が広まっていきました。そして、ついに今年6月の診療報酬改定においてこの「薬剤師外来」が「がん薬物療法体制充実加算」として新たに保険点数が認められる業務になったわけです。新しい診療報酬の項目として認められるためには、その業務によって得られる効果にエビデンスがあることが重要と言われており、これまで本業務に携われてこられた先生方がその業務の効果を評価し、エビデンスとしてまとめてこられた努力が形になったという事ではないでしょうか。がん薬物療法体制充実加算として新たに診療報酬が認められたことで、これまでなかなかこの業務を行いたくても行えなかった施設にとっては追い風になることでしょう。当院では6月の改定を受け、外来化学療法担当薬剤師の1日の配置人数を増やし、7月から算定を開始しています。診療報酬が改定される前から本業務を始める話し合いは行うものの導入には至っていませんでしたが、診療報酬がつくと新しい業務を始めるための後押しとしては大変心強いものがあります。そしてこれまで本業務を行ってこられた施設にとっては、さらに業務を拡大していく足掛かりになることを願っています。

薬剤師の業務は年々拡大していますが、必ずしも実施している業務すべてに保険点数が与えられているわけではありません。それを「薬剤師だからやって当たり前」、「どうせ保険点数はもらえないでしょ」と諦めていませんか。日々行っている業務も、その効果を検証しどのような効果を得られているのか是非評価を行ってみてください。そして、それを多くの薬剤師と共有をしてください。小さな取り組みでも、それが多くの施設で行われ、患者貢献につながった場合には保険点数が認められる業務へ変わる可能性があります。小さな一歩が将来の大きな一歩となることを願い、現在行っている日々業務を一度振り返っていただき、どのような事に貢献しているか評価をしてみたいかがででしょうか。

## 能登半島地震 JMAT 災害派遣医療チーム活動報告

川口市立医療センター 薬剤部  
田村 賢士

私は、能登半島地震における日本医師会災害医療チーム JMAT 埼玉の一員として、2024 年 3 月 10 日から 14 日まで石川県で災害派遣医療チームとして活動してきたので、その活動内容を報告する。

当院では能登半島地震の発災直後の 1 月から 2 月にかけて DMAT を計 3 隊派遣していたが、当院の DMAT には薬剤師はおらず、薬剤師としては当院で初めての派遣となった。

### 【行程】

- 3/10 (日) 8:00 医療センター出発、14:00 JMAT 石川県庁調整本部（石川県庁内）到着。  
JMAT 石川県庁調整本部内で前任のチームから業務内容の申し送りを受け活動開始。  
19:00 まで活動し、金沢市内ホテル宿泊。
- 3/11 (月) 8:00 から JMAT 石川県庁調整本部で活動開始。午後から内灘町内の液状化現象が酷かった地区（西荒屋小学校周辺）と、金沢市内のいしかわ総合スポーツセンター内の 1.5 次避難所を視察訪問。その後、JMAT 石川県庁調整本部に戻り 19:00 まで活動し、金沢市内ホテル宿泊。
- 3/12 (火) 8:00 から 19:00 まで JMAT 石川県庁調整本部で活動し、金沢市内ホテル宿泊。
- 3/13 (水) 8:00 から JMAT 石川県庁調整本部で活動し、後任のチームに申し送り。午後から穴水町内、輪島市内（輪島朝一の火災現場、輪島市ふれあい健康センター（避難所）等）、七尾市内などの被災地を視察訪問し、20:00 富山市内ホテル宿泊。同行した循環器内科医師は翌日から外来診療があるため、北陸新幹線にて先に帰還。
- 3/14 (木) 8:30 富山市内ホテル出発、14:30 医療センター帰還。



内灘町内の液状化現象の現場



いしかわ総合スポーツセンター内の避難所の様子



輪島市内のビル倒壊現場

## 【活動内容】

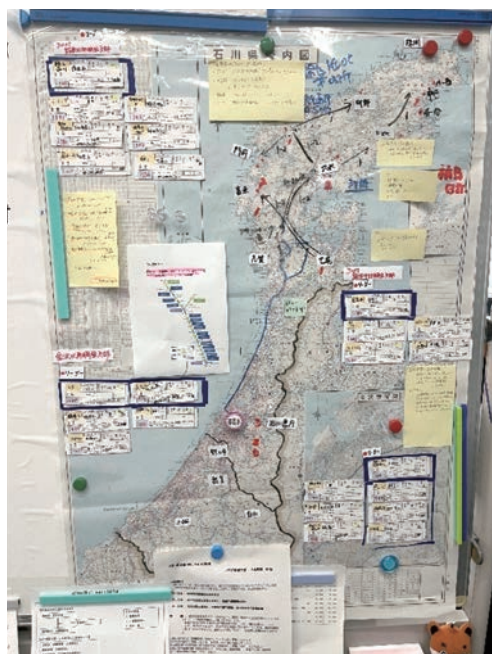
派遣当時、JMAT（日本医師会災害医療チーム）は、石川県庁調整本部の指揮下に石川県内を3つのエリアに分けて、能登北部支部（輪島市）・能登中部支部（七尾市）・金沢以南支部（石川県庁内）が設置され、県内でおおよそ30チームのJMATが活動していた。

各支部では、担当エリアの避難所での訪問診療と情報収集、診療所等の医療支援を行い、それらの活動内容はWEBを介したシステムで毎日調整本部へ報告されていた。また、毎日夕方にWEB会議システムを利用して調整本部・各支部・日本医師会本部がミーティングを行い、情報共有を密に行うとともに、今後の活動方針の見直しなどを行っていた。

JMAT石川県調整本部は、石川県内で活動するJMATの統括業務を行っていた。派遣当時の統括業務は、①調整・指示班（医師が担当）、②インテリジェンスチーム（情報収集・解析班：主に技師・事務が担当）、③ロジスティクスチーム（活動チーム支援班：主に看護師が担当）の3つに分かれており、私は②インテリジェンスチームに配属となった。ちなみに、③ロジスティクスチームは活動中やこれから活動予定のチームの日程や派遣先の調整、活動に必要な情報提供や活動中のチームの現状の把握などを行っていた。派遣時にはインフラの仮復旧がかなり進んでいたが、復旧する前はトイレや宿泊できる場所、車での移動経路や買い物ができる場所などの情報収集や共有も、活動支援の重要な任務だったようだった。後述する最終日の能登北部の視察の際にも、高速道路はまだ一部が通行止めで、救急車両・災害支援車両のみ通行可能な道路などもあった。

インテリジェンスチームは、現場で活動中のJMAT各チームから毎日来る活動報告をもとに、避難所ごとのカルテの作成・更新、避難所における医療支援の必要度や次回来訪すべき時期などの確認（調整・指示班の医師と協議）、それらの情報を、避難所情報を管理するシステム（JMAT施設評価総合システム：FA-SYS）への情報登録・更新などが主な業務だった。さらに、これらの情報をもとに、長期間情報が更新されていない避難所や、次回訪問時期からしばらく訪問できていない避難所などの情報を可視化し、各支部の統括担当に報告し、翌日の活動計画に反映してもらう支援も行っていた。

派遣当時、DMATや日本赤十字社などの医療チームはほ



毎日、ロジスティクスチームが活動中のチームの情報をまとめている



FA-SYSによる避難所等の情報管理  
（写真は能登北部エリアの例）



厚労省や地元保健所、石川県医師会等と定期的に会議を行い活動方針を決定

ば撤収しており、JMATも活動範囲を徐々に縮小させていた。これは、石川県医師会を中心とした地元の医療機関に徐々に医療支援を移行させていくフェーズであり、最大で約500か所あった避難所（みなし避難所を含む）の日々変化する状況（避難所の閉鎖、診療所の診療再開、間借りしての診療再開や移転等）を把握しつつ、避難者の数、必要な支援内容（医療・介護・診療支援等）などの情報を取りこぼしの無いようにまとめ、関係する団体（医師会、保健所等）に情報共有していく地道な作業だった。JMAT石川県庁調整本部では、定期的に石川県医師会、地元保健所、厚生労働省などの担当者とも石川県庁内でミーティングを行って情報共有を行い、これらの情報をもとに、今後の移行スケジュールの調整などを行っていた。

JMATはもともとJ-SPEEDという災害時に使用する医療情報の情報共有ツールがあったが、さまざまな理由からほとんど使用されず、今回の能登半島地震に対応した独自のWEBシステムを利用して情報共有を行っていた。初期はKINTONE®を利用し、その後Google Drive®へ移行、派遣当時はMicrosoft Teams®へ移行途中だった。TeamsではFA-SYSという統合管理システムが構築され、石川県内の避難所や診療所の情報が俯瞰的に管理できる仕組みができていたが、各避難所等のカルテ情報はGoogle Drive®のデータを利用しており、2つのシステムを運用していた。

派遣当時、これらのデータをMicrosoft社の協力のもとで、Microsoft Power Apps®を利用した活動現場からの活動報告のモバイルアプリ化と、Microsoft Power BI®による情報の管理ツールの構築途中で、私はこれらの設計やデータ移行の手順等について、調整本部の責任者とMicrosoft社の担当者との打ち合わせにも参加し、様々な提案をさせていただいた。

私は普段から、院内の電子カルテシステム、薬剤部調剤支援システム、病棟業務支援システムなどの管理等を行っており、さらに、埼玉県病院薬剤師会の会員情報管理や研修システムの構築等を行ってきたことから、システム開発やデータ移行等に必要な知識がある程度あったことが非常に役に立った。一方で、限られた資機材や短い派遣期間の中で、中途半端な関わりしかできなかったが、Power Apps®によるモバイルアプリのプロトタイプが完成し、実運用に向けたデータ移行の手順もある程度できた段階で、派遣期間の終了を迎えた。



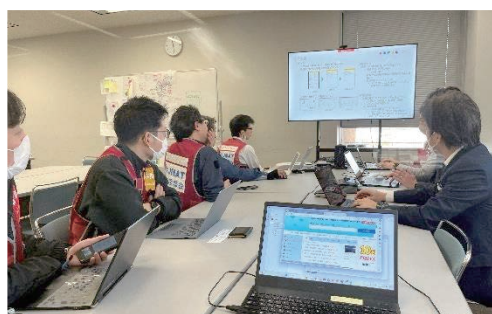
輪島市ふれあい健康センターに設置された避難所と屋外簡易シャワー室



調整本部での毎朝のミーティング



調整本部での執務



Microsoft社との打ち合わせ



その後、4日目午後から能登中部・北部の被災地を視察訪問し、被災地の現状や避難所の様子等を実際に確認することができた。能登北部エリアに入ると急に大きく損壊した建物が増えていき、同時に工事関係の車両も多く見られるようになった。今回、時間の関係で珠洲市などの奥能登までは行くことができなかったが、穴水町や輪島市でもかなり大きな被害が出ていた。特に、輪島朝市の大規模火災現場は、ほぼそのままの状態だったのが印象的だった。

さて、この話には後日談があります。

帰還してから2週間ほど経った頃、石川県 JMAT 調整本部から職場に電話があり、派遣期間中に関与した新システムの構築・データ移行に協力してほしいと連絡があった。

その後、WEB 会議やメールでのやり取りなどを行いながら作業を進め、最終的な構築と既存データの移行を行い、帰還からちょうど1ヶ月後に新システムが運用開始となった。

#### 【まとめ】

災害時医療といえば DMAT が有名だが、今回の災害派遣を通じて、さまざまなチームが活躍していることが分かった。特に JMAT は DMAT などのチームから引き継いだ医療情報をもとに、診療支援や避難所支援を行いながら、地域医療を今後担う地元の医師会や保健所などに引き継いでいき、被災地の地域医療を取り戻すことを目的に活動していた。

超急性期を過ぎたフェーズでは、取りこぼしの無いよう避難所や診療所などの医療ニーズの情報を収集・分析し、都度方針を決めて関連機関との調整を行うことは、どのような災害にも共通して必要なことである。特に今回の災害では、道路や通信等のインフラが大規模に寸断された中で、農園のビニールハウスなども避難所となっており、全体を把握するだけでも相当に困難な状況だったと思われる。

今回の派遣では、派遣前はどこでどのような活動を行うか事前に情報が無く、被災地での支援活動の可能性もあったことから、事前に資機材の準備を行い、病院の車で石川県に入った。しかし、調整本部での統括業務だったことから、薬剤師としての職能を発揮できる場面はあまり無かった。一方で、システム開発・設計やデータ整理・移行等の経験が非常に役に立った。

また、医療支援チームは災害現場での医療支援が主な任務と思われがちだが、それらを統括し後方支援する業務の重要性について改めて認識することができた。さらに、災害医療において発災後のフェーズ毎に変化するニーズに対応した医療支援の在り方について、BCP の考え方等を含めて再考する良い機会となった。



輪島市内の倒壊した民家



輪島朝市の火災現場の様子



## <医療の質・安全部会から>

### 安全な薬物治療で国民の期待に応えよう！

AMG 上尾中央医科グループ協議会

増田 裕一

病院薬剤師は、対物業務から対人業務が中心となり、「薬の専門家」から「薬物治療の専門家」へと進化(?)したかのように言われている。2019年の薬生総発 0420 第1号で、非薬剤師が行える業務がグレーから少し明確になり、医薬品の在庫管理や病棟配置薬の取り揃え、更には最終的に薬剤師の確認が行われるものの、持参薬の鑑別までお願いできるようになった。その分、薬剤師は薬剤管理指導業務や病棟薬剤業務に費やせる時間が増えたが、どれだけ患者に貢献できているのだろうか。副作用の事前回避、重篤化回避、薬物治療効果の向上を目的としたプレアボイドや高齢者を中心とした安全な薬物療法を行うためのポリファーマシー対策など様々な手段で安全な薬物治療に関与するようになった。しかし、こういった業務は「本当に薬物治療の安全に寄与しているのか」、実は自己満足になっていないか、振り返って考える必要があるのではないだろうか。

プレアボイド報告に関しては、当グループ内・外の報告をたくさん見てきた。中には、患者から感謝の言葉をいただくような優良事例や薬剤師が関与したことによって Grade 4 (CTCAE v 5.0) を回避した素晴らしい事例も多く確認できる。一方で報告の一部ではあるが、患者のアウトカム評価が不十分な事例や、薬剤師の薬学的関与が不明瞭な事例も見受けられる。文章の問題もあるかもしれないが、少なくとも病院・薬局実務実習では学生と共に指導薬剤師にも臨床に触れ症例をまとめる機会があったのではないだろうか。ここでは、きちんと患者背景や薬学的指導内容、患者のアウトカムまで誰が見ても分かりやすいものであったと思う。そこには指導薬剤師や担当教員の評価、進級に必要な単位など色々絡んでいるからであろう。もしかしたらプレアボイド報告は、直接批判も評価もされないと誤解しているのかもしれない。しかし、プレアボイド報告は患者に対して薬学的管理・指導を行うことによって得られた薬剤師の戦利品であり、それをしっかりと国民から評価していただく必要がある。2024年度の診療報酬において、がん薬物療法体制充実加算が新設された背景にはがん化学療法における薬剤師の関与が評価された結果であることを忘れてはいけない。

また、ポリファーマシー対策への取り組みに関しては、ある病院薬剤師向けの研修会に参加させていただいた際に「ポリファーマシー対策＝服用する剤数を減らすこと」と捉えている薬剤師が以外に多い印象を受けた。服用剤数が減ることにより副作用や二次的な有害事象が減少することは認められており、安全な薬物治療にとっては非常に有効であることは間違いない。これは私見であり国が決めたことに歯向かうつもりはないが、「配合剤に変更すること」での減少も服用する剤数が減りアドヒアランスの向上に繋がるかもしれない。しかし、本来の目的は「患者にとって必要性の低い薬」を減らすことで安全な薬物療法を行うことであり、服用する成分数に変化がなく単純に服用剤数を減らすことにあまり意味を見出せない。(偉そうにすみません)

病院薬剤師が行うポリファーマシー対策は、薬剤総合評価調整加算として入院患者を対象とすることがほとんどだと思う。入院中に患者から服用状況や残薬の有無などの情報を収集し、主治医や時には持参薬の処方元であるかかりつけの医師に確認をするなど、多くの時間と労力を使って減薬する機会が多い。しかし、患者の退院後はどうだろうか。今まで服用していた薬を減らした患者に体調の変

化などに問題ないかその後のモニタリングをどこまで行っているだろうか。自身の経験だが、かかりつけのクリニックで直ぐに元の処方に戻ってしまった事を半年後に知った事例や、胃粘膜保護剤を中止した患者が退院後に食欲不振になり3カ月前からOTCの胃腸薬を服用していることを保険薬局の薬剤師から情報をもらったこともあった。「患者の薬を減らすことができた!」と思っていた自分自身の大きな勘違い、自己満足であることに気づいた。ポリファーマシー対策の取り組みは、薬を減らすことが目的ではなく、定期的に継続したモニタリングを行いながら慎重に投与継続を行うことも選択肢であり、患者に安全で効果的な薬物治療を提供することが目的であると思う。患者が高齢者でなくとも、たとえ1剤しか服用していなくても、その患者にとって必要な薬かどうか評価し、薬学的管理・指導を行っていく必要がある。病院薬剤師がいただいている診療報酬は、安全な薬物治療を願う国民の訴えであり、大きな期待が込められていることを忘れてはいけない。

●●●●●●●●●●  
薬局業務紹介  
●●●●●●●●●●

IMS（イムス）グループ 医療法人社団明理会 イムス富士見総合病院  
薬剤部の業務紹介

イムス富士見総合病院 薬剤部  
上野 拓



【病院概要】

当院は埼玉県富士見市にある板橋中央医科グループ（イムスグループ）の病院です。

昭和46年1月に鶴瀬病院として開設し、平成21年3月にイムス富士見総合病院へ名称変更し新設移転しました。平成28年4月にB館が完成、120床増床し341床となりました。そこで、小児病棟をB館6階にリニューアル、集中治療室・専門治療室を整備、手術室・透析室・カテーテル治療室の拡張、回復期リハビリテーション病棟を開設し、循環器・小児・救急を診療の柱とし、高度急性期、急性期から回復期、在宅支援まで総合医療を提供する地域多機能型の急性期総合病院となりました。

イムスグループにおいて、数少ない小児科病棟を有しており、令和6年3月には周産期専門のC館（20床）を開設し、地域に根差した総合病院の役割として、新生児から高齢者まで全ての方に安心していただける医療環境を提供しています。

病床数 341床（一般239床、ハイケアユニット17床、小児45床、回復期40床）  
診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／腎臓内科／神経内科／人工透析内科／外科／心臓血管外科／消化器外科／呼吸器外科／小児外科／小児泌尿・生殖器外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／内視鏡外科／小児科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／血管外科／病理診断科／脊椎・脊髄外科／脳血管内治療科（全30科）

### 【薬剤部概要】（2024年4月現在）

薬剤部員数 薬剤師 24名 アシスタント 4名

入院処方箋枚数（月平均） 3540枚 入院注射箋枚数（月平均） 4266枚

薬剤管理指導件数（月平均） 547件

退院時薬剤情報管理指導件数（月平均） 428件

退院時薬剤情報連携加算件数（月平均） 31件

周術期薬剤管理加算件数（月平均） 27件

化学療法混注処方箋枚数（月平均） 55枚

日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師 1名

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 1名

認定実務実習指導薬剤師 1名

日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 3名

日本小児臨床薬理学会 小児薬物療法認定薬剤師 1名

日本アレルギー疾患療養指導士認定機構 アレルギー疾患療養指導士 1名

日本循環器学会 心不全療養指導士 2名

日本不整脈学会 日本心電図検定（4級） 1名

公認スポーツファーマシスト 2名

薬剤部は、すべての入院患者さまへ介入し、病棟に専任薬剤師を配置し、外来がん患者さまへの薬剤師外来にも専任薬剤師を配置しています。退院後も医療的援助が必要な患者さまに対し、多職種と連携して在宅医療にも介入しています。「チームでワーク」を合言葉に多職種と協働して安全第一で取り組んでいます。

### 【中央調剤室業務】

当院は外来処方箋の90%以上を院外発行しているため、中央調剤室では主に入院患者さまが使用する薬の調剤を行っています。電子カルテにより薬歴を確認し、医薬品の相互作用や重複投与の防止に努めています。患者さまの体重・年齢・腎機能・各種検査値などが処方箋に反映される仕組みとなっており、病態を把握した上で調剤・監査を行うことで、患者さまが安心・安全に服用できるように取り組んでいます。また当院は小児科の入院病棟を有していることから散剤の処方件数が多く、昨年度より散剤調剤ロボットを導入いたしました。これにより散剤調剤に要する時間が大幅に短縮され、その他の調剤業務や対人業務へ時間を割くことができています。



散剤調剤ロボット



### 【入院前服薬指導業務】

手術が予定されている患者さまを中心に入院前服薬指導を行っています。服用中薬剤の把握とともに術前休薬が必要な薬剤の有無、適切な休薬指示の有無を確認し、患者さまが休薬について正しく理解されているかの確認および指導を行っています。同様に副腎皮質ステロイドの長期服用歴やアレルギー歴、副作用歴の有無などの確認を通じ、患者さまが安心・安全に手術を受けることが出来るよう支援しています。



入院前服薬指導

### 【病棟薬剤業務】

全ての病棟に薬剤師を配置し、病棟薬剤業務および薬剤管理指導業務を実施しています。入院中の薬物療法を円滑に行えるように、服薬指導、持参薬確認、処方確認、TDM などを行い安全な薬物療法が遂行できるように支援しています。また、患者さまの情報共有および薬物療法提案のため、カンファレンス、回診等への参加も行っています。

その他、薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算、退院時薬剤情報連携加算など、ポリファーマシー対策、薬薬連携にも力を入れています。

2024年3月より周産期病棟が開設となり、一般病棟同様に初回面談や退院指導を通してお母さん、新生児と向き合っています。今後は妊娠期・授乳期の外来でのお薬情報カウンセリング（お薬相談窓口）の開設に向け運用構築を進めています。



服薬指導



他職種カンファレンス

### 【医薬品情報管理業務】

DI業務では情報の早急な提供が重要となりますが、当院では各職員が携帯している職員用スマートフォンを活用し業務の効率化を図っています。対面での情報共有も重視しており、病棟担当薬剤師とは定期的なカンファレンスを行っています。



### 【チーム医療】

#### ・外来化学療法

外来化学療法室はベッド1床、リクライニングチェア2床の合計3床と隣接する調製室で構成されています。2018年5月より閉鎖式薬物移送システム（CSTD）を導入し、全ての抗がん薬の調製で使用しています。

対人業務としては、注射抗がん薬、経口抗がん薬による治療を行っている患者さまを対象に「薬剤

師外来」として医師の診察前に副作用モニタリングを行っています。問診票による副作用症状の聞き取りと同時に、フィジカルアセスメント（治療当日の体重・体温・血圧・脈拍・SpO2の測定）を行い、副作用の早期発見・防止、治療効果の確認に役立っています。これらの情報は医師、看護師などと共有し、必要に応じて薬学的見地から医師への処方提案を行っています。



抗がん薬調製



薬剤師外来

#### ・外来透析

タスクシフト/シェアの観点ならびに医療安全の向上を目的に人工透析内科の院外処方箋に対し薬剤師による介入をしています。医師・看護師とともに回診に同行し、患者さまとの面談を通じて処方提案や残薬調整を含めた定期処方箋の確認作業を行っています。患者さまや多職種からの質疑に迅速に対応し、疑義照会簡素化プロトコルによる保険調剤薬局との連携などにも貢献しています。



#### ・抗菌薬適正使用支援

2015年から薬剤師が中心となり抗菌薬適正使用支援活動を強化してきました。これにより広域抗菌薬の使用量減少、術後予防抗菌薬の適正化、採用抗菌薬の適正化、抗菌薬購入費の削減に貢献しています。さらに医療スタッフへの教育、病棟薬剤師との連携強化が必要であり、感染領域の認定薬剤師の育成・増員に力を入れています。



ASTラウンド

#### 【部内研修】

当院では若手薬剤師も多く在籍しているため、知識向上を目的に部内研修会を行っています。研修は各職員が知りたい内容や知ってもらいたい内容についてアンケートを実施し、それに基づき年間スケジュールを作成しています。幅広い年次の職員が部内研修会の講師を担当することで、知識だけでなくプレゼンテーション能力の向上にも役立っています。また医局と薬剤部で合同の製品勉強会も毎月開催しています。

#### 【おわりに】

高度化・細分化・専門化する医療環境の中で、医療従事者の業務は多岐にわたっています。タスクシフト・シェアにより医療従事者それぞれが専門性を活かし業務分担を行いチーム医療の水準を上げることを目指しています。薬剤師不足のなか、患者さま・他職種ニーズの多様化に対応するため、ICT

(情報伝達技術) ツールを利用し業務の効率化や調剤業務の自動化を行い、働きやすい環境づくりを実現し、自部署職員一丸となって頑張っています！





●●●●●●●●  
会のうごき  
●●●●●●●●

- 1月12日 埼玉県薬事団体連合会新年名刺交換会・特別講演会に町田充会長、  
近藤正巳・濱浦睦雄副会長出席
- 1月14日 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修会申請に関する依頼事項及び  
日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システムに関する説明会（ライブ）
- 1月16日 （一社）埼玉県病院薬剤師会新年会 於：武蔵一宮氷川神社呉竹荘
- 1月18日 日病薬関東ブロック第54回学術大会プログラム編集委員会 オンライン会議
- 1月19日 CAPEP 第31回認定薬剤師認証機関協議会に大塚潔生涯研修委員会委員長・  
濱浦睦雄評価委員会委員長 Web 参加
- 1月20日 第33回新任薬剤師研修会 於：大宮ソニックビル 602 会議室
- 1月23日 日病薬関東ブロック第54回学術大会第11回準備実行委員会  
於：小峰ビル1階会議室
- 1月24日 第20回妊婦授乳婦・小児科領域研修会 オンライン研修会
- 1月24日 （一社）埼玉県薬剤師会新春賀詞交換会に町田充会長出席
- 1月26日 第76回評価委員会 於：事務局
- 1月30日 第4回中小病院・診療所委員会 オンライン会議
- 2月2日 第39回地域研修部会 T 会議室
- 2月7日 第107回抗がん剤研修会 オンライン研修会
- 2月9日 第4回薬事運営・実習教育委員会 オンライン会議
- 2月13日 日病薬関東ブロック第54回学術大会第12回準備実行委員会 オンライン会議
- 2月15日 第14回医療の質・安全研修会 オンライン研修会
- 2月17日 日病薬第68回臨時総会に町田充会長、近藤正巳・多田幸子副会長、  
新井成俊理事参加
- 2月20日 第6回理事会 オンライン会議
- 2月27日 第139回輸液・栄養管理研修会 オンライン会議
- 2月29日 埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター全体会 オンライン会議
- 3月3日 第26回県民のためのくすり講座 オンライン講演会
- 3月5日 関東ブロック第54回学術大会第13回準備実行委員会 於：小峰ビル1階会議室
- 3月8日 日本薬科大学学位記授与式に町田充会長出席

3月12日	2023年度臨時総会	オンライン会議
3月13日	第16回埼玉緩和薬物療法研修会	オンライン研修会
3月15日	第1回選挙管理人会議	オンライン会議
3月19日	第77回評価委員会	於：事務局
3月26日	第73回感染制御研修会	オンライン研修会
3月27日	能登半島地震災害派遣活動報告	オンライン研修会
3月27日	日病薬クラウド型会員管理システムに関する説明会	オンライン会議
3月28日	第49回精神科薬物療法研修会	オンライン研修会
4月3日	日本薬科大学学入学式に町田充会長出席	
4月9日	第26回臨床業務実践講座「糖尿病」	オンライン研修会
4月16日	関東ブロック第54回学術大会第14回準備実行委員会	於：小峰ビル1階会議室
4月21日	全国都道府県病院薬剤師災害担当会議に災害・救急委員会より鈴木善樹委員出席	
4月22日	第2回選挙管理人会議	於：事務局
4月24日	埼玉県薬事団体連合会団体長会議に町田充会長出席	
4月25日	第1回理事会	オンライン会議

●●●●●●●●●●  
総 会 報 告  
●●●●●●●●●●

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会  
2023 年度臨時総会議事録

日 時：2024 年 3 月 12 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 15 分

配信場所：埼玉県病院薬剤師会事務局

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-12-24

配信方法：Teams によるオンライン配信

会 員 数：2009 名（この議決権数 2009 個）

出席した会員：1468 名（内出席 58 名、委任状 1410 名）（この議決権数 2009 個）

出席した役員 理事： 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井亘、池上幸子、  
伊藤典子、大塚潔、奥富秀典、金子智一、渋谷清、須田修輔、  
長谷部忠史、日比徹、星野真之、眞壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛  
（以上 19 名）

監事： 岸野 亨、 三宮忠

開会に先立ち、総務委員会池上幸子委員長より定足数について説明があり、出席者 58 名、委任状の提出者 1410 名、計 1468 名で、会員数 2009 名の過半数 1005 名を超え定款第 17 条の定足数を満たしていることを確認し、総会が成立する旨の発言があり、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 2023 年度臨時総会の開会が宣言された。

まず町田充会長より会長演説が行われた。

次に、議長の選出に入り、会場より司会者一任の発声があり、会場全員の拍手により司会者池上幸子総務委員会委員長に一任され、次の会員が選出された。

議長： 松沼篤（さいたま赤十字病院）

議長登壇し議事審議に入る。

(1) 第 1 号議案 2024 年度事業計画（案）承認の件

町田充会長が埼玉県民への正しいくすりの知識などの普及啓発活動および薬剤師を目指す学生への教育環境整備のための支援を行うこと、また薬学に係る業務・調査・研究および医薬品に係る情報提供等の実施により、会員および県内すべての薬剤師の知識と意識の向上を実現するため、研修会および講演会等を提供実施すること、「チーム医療への参画と在宅医療への貢献」という観点をふまえ患者の立場に立った医療への貢献を図ること等の事業活動基本方針、及びこれに基づく重点項目及び事業計画の説明を行った。その後質疑を行い、議長が採決に入り、満場一致で可決承認された。

(2) 第 2 号議案 2024 年度予算（案）承認の件

近藤正巳副会長より 2024 年度の予算（案）について説明がなされ、質疑を行い、議長が採

決に入り、満場一致で可決承認された。

(3) 第3号議案 (一社) 埼玉県病院薬剤師会定款細則承認の件

町田充会長より(一社)埼玉県病院薬剤師会定款細則の改定案について説明がなされ、質疑を行い、議長が採決に入り、この時本議案は令和6年4月1日施行となる旨の発言あり、満場一致で可決承認された。

(4) 第4号議案 埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター研修認定薬剤師制度実施要綱の改正案承認の件

町田充会長より埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター研修認定薬剤師制度実施要綱の改正案について説明がなされ、質疑を行い、議長が採決に入り、この時本議案は令和6年4月1日施行となる旨の発言あり、満場一致で可決承認された。

(5) 第5号議案 日病薬報告 第67回通常総会・第68回臨時総会について

濱浦睦雄副会長より日病薬第67回通常総会・第68回臨時総会の説明がなされ承認された。

(6) 第6議案 その他

特になし

議長は以上を以て議案の審議を終了した旨を述べ、議長降壇した。

最後に多田幸子副会長より閉会の辞があり、午後7時15分閉会した。

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

2024 年度通常総会議事録

日 時：2024 年 5 月 14 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 55 分

開催場所：ソニックシティビル 6 階 603 会議室

会 員 数：2007 名（この議決権数 2007 個）

出席した会員：1444 名（内出席 44 名、委任状 1400 名）（この議決権数 1444 個）

出席した役員 理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井亘、池上幸子、  
伊藤典子、大塚潔、奥富秀典、金子智一、北澤貴樹、須田修輔、  
長谷部忠史、日比徹、星野真之、眞壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛  
監事 岸野亨、三宮忠

開会に先立ち、総務委員会池上幸子委員長より定足数について説明があり、出席者 44 名、委任状の提出者 1400 名、計 1444 名で、会員数 2007 名の過半数 1004 名を超え定款第 17 条の定足数を満たしていることを確認し、総会が成立する旨の発言があり、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 2024 年度通常総会の開会が宣言された。

その後祝電 1 通の紹介があった。

まず町田 充会長より会長演説が行われた。

次に、議長の選出に入り、会場より司会者一任の発声があり、会場全員の拍手により司会者池上幸子総務委員会委員長に一任され、次の会員が選出された。

議長： 松沼篤（さいたま赤十字病院）

議長が登壇し議事審議に入る。

（1）第 1 号議案 2023 年度事業報告

（イ）一般会務報告は濱浦睦雄副会長が説明、（ロ）各委員会・部会報告では総務委員会報告については池上幸子委員長、広報委員会報告については多田幸子担当幹事、薬事運営委員会報告については矢吹直寛委員長、実習教育委員会については眞壁秀樹委員長が説明を行った。災害・救急委員会については新井成俊委員長、中小病院・診療所委員会については伊藤典子委員長、地域連携委員会については長谷部忠史委員長、インシデント・アクシデント委員会については新井亘委員長、感染対策委員会については近藤正巳委員長が説明を行った。生涯研修センター報告において企画委員会は近藤正巳委員長が説明を行った。評価委員会については大塚潔センター長が説明を行った。その後実施委員会の説明に移り、総合研修部会は金子智一担当理事、地域研修部会は新井成俊担当理事、特別対策研修部会は町田充担当理事、専門研修部会報告のがん領域については牧野好倫担当理事、感染領域については近藤正巳担当理事、糖尿病領域については日比徹担当理事、緩和領域については星野真之担当理事、精神科領域については須田修輔担当理事、妊婦授乳婦・小児科領域領域については近藤正巳担当理事、輸液・栄養管理領域については奥富秀典担当理事、医療の質・安全領域では新井亘担当理事が説明を行った。その後、次に質疑を行い、議長が採決に入り、満場一致で可決承認された。

(2) 第2号議案 2023年度決算報告

(3) 第3号議案 2023年度監査報告

議長より第2号議案及び第3号議案は関連があるため一括審議とする旨説明がなされ、異議なく承認された。

まず近藤正巳理事より2023年度の決算報告について説明がなされた。

続いて三宮忠監事より2023年度の監査報告について説明がなされた。

その後質疑を行い、議長が採決に入り、第2号議案及び第3号議案は満場一致で可決承認された。

(4) 第4号議案 生涯研修センター実施要綱改正の件

町田 充会長より実施要綱内の「研修受講単位の請求および付与第7条(1)」を別紙の通り改正したい旨の説明がなされた。

その後質疑を行い、議長が採決に入り、第4号議案は満場一致で可決承認された。

(5) 第5号議案 名誉会員の推薦承認について

町田 充会長より定款に基づき北澤貴樹氏について名誉会員に推薦する旨の説明がなされた。

その後質疑を行い、議長が採決に入り、第5号議案は満場一致で可決承認された。

(6) 第6号議案 役員選任の件

議長より、現在の理事及び監事の全員が、本通常総会の終結時をもって任期終了の旨が告げられ、次の理事及び監事を選任する必要がある旨の説明があった。

さらに、このために、2024年2月20日付で会長より猪股ふみ子、大木崇弘、坂上洋子、佐々木茂樹、永野浩之、須賀宏之の6名が選挙管理人に委嘱され、また2024年2月20日付で会長より北畑智英、齋藤健一の2名が選挙立会人に指名された旨の報告があった。

議長の求めにより猪股ふみ子選挙管理人が選挙管理人会議の報告、告示、候補者の審査結果等の報告を行ったのち、選挙方法の説明がなされた。

続いて議長の議場封鎖の発言の後、投票が開始された。

議場のすべての出席者の投票終了と共に議場封鎖はとかれた。

次に選挙管理人、選挙立会人は開票場にて開票を行った。

開票結果は開票録に作成され、選挙管理人猪股ふみ子より議長に報告された。

議長は、候補者の数が定款第19条第1項に定める定数を超えていないため、今回は信任投票となる旨の説明をし、議場にて開票録を読み上げ、下記の理事及び監事の候補者全員が、それぞれ出席正会員の議決権の過半数の賛成を得て当選したことを発表した。

理事 町田充 近藤正巳 多田幸子 濱浦睦雄 新井成俊 新井真澄  
新井亘 池上幸子 井上雅美 伊藤典子 奥富秀典 金子智一  
須田修輔 田村賢士 中田和宏 日比徹 星野真之 眞壁秀樹  
牧野好倫 矢吹直寛

監事 岸野亨 齋藤恭子

なお、当選者は議場で就任を承諾する旨を発言した。

(7) 第7号議案 その他

議長が会場に提案の有無を確認したが特に発言はなかった。

議長降壇。

最後に多田幸子副会長より閉会の辞があり、午後7時55分閉会した。

●●●●●●●●●●  
理事会開催報告  
●●●●●●●●●●

令和5年度 第6回 理事会議事録

開催日時：2024年2月20日（火）17：30～19：20

開催場所：オンライン会議（Teams）

キーポイント 小峰ビル 4階 事務局（さいたま市浦和区高砂3-12-24）

理事定数：15名以上20名以内（理事現在数20名）

出席者：理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井亘、池上幸子、  
伊藤典子、大塚潔、奥富秀典、金子智一、渋谷清、須田修輔、長谷部忠史、  
日比徹、星野真之、真壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛（以上19名）

監事 岸野亨、三宮忠

事務局 中村房子、金子久代

議事の経過の要領及びその結果

I 議長選出 町田充会長を全員一致で選出した。

II 報告事項

1. 2023年度第5回埼病薬理事会議事録（12/19）  
池上幸子総務委員会委員長より報告があった。
2. 会務報告（12/20～2/20）  
池上幸子総務委員会委員長より報告があった。
3. 令和6年新年会報告書  
池上幸子総務委員会委員長より報告があった。
4. 第6～9回広報委員会議事録（10/2、10/13、12/1、12/28）  
渋谷清広報委員会委員長より報告があった。
5. 第4回中小病院・診療所委員会議事録（1/30）  
伊藤典子中小病院・診療所委員会委員長より報告があった。
6. 感染対策委員会による「埼玉県における感染制御に関する認定取得状況に関するアンケート結果」について近藤正巳感染対策委員会委員長より報告があった。
7. 第54回関ブロ第2～3回プログラム編集委員会議事録（1/18、2/6）  
金子智一プログラム編集委員会委員長より報告があった。
8. 第12回関ブロ準備実行委員会議事録（2/13）  
近藤正巳関ブロ準備実行委員会委員長より報告があった。
9. 令和5年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業報告会について（2/8）  
町田充会長と伊藤典子理事より報告があった。
10. 令和5年度医療政策部セミナー Web の開催について（3/23）  
以下についての内容予定が町田充会長より説明があった。  
令和5年度病院薬剤師を活用したタスク・シフティング推進事業報告  
令和6年度診療報酬改定



11. 災害登録派遣薬剤師について  
新井成俊災害・救急委員会委員長より報告があった。
12. 生涯研修センター第76回評価委員会議事録(1/26)  
大塚潔生涯研修センター長より報告があった。
13. 第39回地域研修部会議事録(2/2)  
新井成俊地域研修部会委員長より報告があった。
14. 専門研修部会第36回がん領域議事録(2/7)  
牧野好倫がん専門領域研修部会委員長より報告があった。
15. 専門研修部会第39～40回精神科領域研修部会議事録(9/7、12/22)  
須田修輔精神科領域研修部会委員長より報告があった。
16. 専門研修部会第138～139回輸液・栄養管理研修部会議事録(10/30、12/21)  
奥富秀典輸液・栄養管理研修部会委員長より報告があった。
17. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024  
牧野好倫日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024大会長より報告があった。
18. ジェネリック医薬品安心推進協議会(2/1)  
町田充医薬品安心推進協議会委員より報告があった。
19. 能登半島地震義援金について  
町田会長より新年会での義援金を含め本会として3万円を埼玉県庁経由で寄付したとの報告があった。

### Ⅲ審議事項

1. 入会希望者の承認  
池上幸子総務委員会委員長より下表の通り、A会員7名の入会希望があり議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。
2. 2023年度臨時総会について(3/12)  
町田充会長より『資料2』の説明がありその後議場に承認を求めたところ、議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。
3. 会費の値上げについて  
町田充会長より本会会費についての意見を各理事に問いかけ、その後議場に意見の取りまとめをし、当分は値上げをしない方向で全員意義なく了承となった。
4. 2024年度通常総会 役員選挙について  
池上幸子総務委員会委員長より2024年度通常総会は役員改選の時期であることの説明があり本会で以下の役割を担う方々の推薦があった。その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。  
選挙管理委員会 委員長 猪股文子  
委員 大木崇弘 坂上洋子 田村賢士 永野浩之 中田和弘  
佐々木繁樹 須賀宏  
選挙立会人 北畑智英 齋藤健一  
選挙管理補助者 金子久代 中村房子
5. 委員の追加について  
はじめに糖尿病領域研修部会日比徹委員長、輸液・栄養管理研修部会奥富秀典委員長よ

り以下の方について各委員会委員を追加で承認いただきたいとの申し出があった。その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。

糖尿病領域研修部会委員の辞退 中沢修司

糖尿病領域研修部会新委員 清水 裕（彩の国東大宮メディカルセンター）

輸液・栄養管理研修部会新委員 相良 克海（AMG 吉川中央須郷病院）

6. 2024年の委員会活動と生涯研修センターの運営について

はじめに『資料3』を用いて町田充会長が説明を行い、その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。

7. 埼玉県薬剤師生涯研修センターに向けて

はじめに以下の各資料について町田充会長が説明を行い、その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。

- ・センター名称変更
- ・薬事日報の記事について
- ・本会定款細則の一部変更について
- ・センター実施要綱の一部変更について

新規申請時は単位取得後からの申請期間は特に設けないが、速やかに申請するように付け加えたい。

この改定は令和6年4月1日からとする。

8. 日本薬剤師会学術大会における査読委員の推薦について

はじめに町田会長より日本薬剤師会学術大会における査読委員の推薦が埼玉県薬剤師会会長よりあった旨の説明があり、その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、20名の推薦を行うことが全員意義なく了承となった。

9. 第54回関ブロ学術大会におけるDr. JOYのビーコン導入について

はじめに町田会長よりDr. JOYのビーコンについて説明があった。その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。

10. 広報委員会ラインについて

多田幸子広報委員会担当幹事より本会専用のライン設定ができたことが報告され、まず理事に登録して頂く旨の説明があった。その後町田充会長より議場に承認を求めたところ、全員意義なく了承となった。

11. その他

今後の予定

- ・生涯研修センター全体会 2月29日（木）Web開催
- ・第54回関ブロ学術大会準備実行委員会 3月5日（火）小峰ビル1階会議室
- ・臨時総会 3月12日（火）Web開催
- ・評価委員会 3月19日（火）事務局
- ・通常総会 5月14日（火）ソニックシティ会議室

次回の第1回理事会開催予定 2024年4月23日（火）17:30～

以上をもって議事を終了したので、議長は19時20分閉会を宣した。

## 令和6年度 第1回 理事会議事録

開催日時：2024年4月25日（火）17：30～19：10

開催場所：オンライン会議（Teams）

キーポイント 小峰ビル 4階 事務局（さいたま市浦和区高砂3-12-24）

理事定数：15名以上20名以内（理事現在数20名）

出席者：理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井亘、伊藤典子、  
大塚潔、奥富秀典、金子智一、北澤貴樹、渋谷清、須田修輔、長谷部忠史、  
日比徹、星野真之、真壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛（以上19名）

監事 岸野亨 三宮忠

事務局 中村房子、金子久代

議事の経過の要領及びその結果

I 議長選出 町田充会長を全員一致で選出した。

II 報告事項

### 報告資料

1. 2023年度臨時総会議事録（3/12）  
近藤正巳副会長より報告があった。
2. 2023年度第6回埼病薬理事会議事録（2/20）（池上）  
近藤正巳副会長より報告があった。
3. 会務報告（2/21～4/25）  
近藤正巳副会長より報告があった。
4. 第3回総務委員会議事録（2/29）  
近藤正巳副会長より報告があった。
5. 第1～2回選挙管理人会議報告  
近藤正巳副会長より報告があった。
6. 第4回中小病院・診療所委員会議事録（1/30）  
伊藤典子中小病院・診療所委員会委員長より報告があった。
7. 第4～5回薬事運営・実習教育委員会合同会議議事録（2/9、2/29）（矢吹）  
矢吹直寛薬事運営委員会委員長より報告があった。
8. 第13～14回関ブロ準備実行委員会議事録（3/5、4/16）  
近藤正巳関ブロ実行委員長より報告があった。
9. 第77回評価委員会議事録（3/19）  
濱浦睦雄評価委員会委員長より報告があった。
10. 第31回総合研修部会議事録（2/29）  
金子智一総合研修部委員長より報告があった。
11. 第40回地域研修部会議事録（2/29）  
新井成俊地域研修部委員長より報告があった。
12. 第7回特別対策委員会議事録（2/29）  
町田充特別対策委員会担当幹事より報告があった。

13. 専門研修部会第 37 回がん領域議事録 (2/29)  
牧野好倫がん領域研修部会委員長より報告があった。
14. 専門研修部会第 20 回感染制御領域議事録 (2/29)  
近藤正巳感染制御領域研修部会委員長より報告があった。
15. 専門研修部会第 29 回糖尿病領域議事録 (2/29)  
日比徹糖尿病領域研修部会委員長より報告があった。
16. 専門研修部会第 26 回緩和医療領域議事録 (2/29)  
星野真之緩和医療領域研修部会委員長より報告があった。
17. 専門研修部会第 41 回精神科領域研修部会議事録 (2/29)  
須田修輔精神科領域研修部会委員長より報告があった。
18. 専門研修部会第 90 回妊婦授乳婦・小児科領域研修部会議事録 (2/29)  
近藤正巳妊婦授乳婦・小児科領域研修部会委員長より報告があった。
19. 専門研修部会第 140 回輸液・栄養管理研修部会議事録 (2/29)  
奥富秀典輸液・栄養管理研修部会研修部会委員長より報告があった。
20. 専門研修部会第 39 回医療の質・安全研修部会議事録 (2/29)  
新井亘医療の質・安全研修部会委員長より報告があった。
21. 2023 年度研修会費用明細最終集計  
大塚潔生涯研修センター長より報告があった。
22. 令和 6 年能登半島地震における被災地の支援のための支援金について  
町田充会長より報告があった。
23. 日病薬クラウド型会員管理システムと研修支援システムについて  
町田充会長より報告があった。また田村賢士委員より追加説明があった。
24. 特定募集情報等提供事業に基づく「日本病院薬剤師会 求人・求職システム」の運用開始に伴う施設登録について  
町田充会長より説明があった。
25. 全国都道府県病院薬剤師会災害担当者会議 4/21 開催  
新井成俊災害・救急委員会委員長より報告があった。
26. 日病薬第 69 回通常総会一般質問要望事項について  
町田充会長より資料に基づき説明があった。
27. 薬剤師臨床研修ガイドライン (厚労省)  
町田充会長より資料に基づき説明があった。
28. 埼玉県薬剤師会オンライン研修会等運営方法説明会 (3/20)  
町田充会長より報告があった。
29. 第 57 回日薬学術大会 (埼玉) 開催にあたっての研修単位付与について  
町田充会長より日本薬剤師会および埼玉県薬剤師会の方針が固まり次第、本会生涯研修センターに G15 付与の相談があるとの報告があった。
30. 明治薬科大学 Web 就職合同セミナー報告 (2/28)  
伊藤典子理事より令和 6 年 2 月 28 日 WEB にて参加した旨の報告があった
31. 県庁薬務課との面談報告 (4/24)  
町田充会長より県薬務課と病棟薬剤業務向上加算について話し合い、今後アンケート調査に

協力するため理事を選出するとの報告があった。

## 協議事項・資料

### 1. 入会希望者の承認

近藤正巳総務委員会担当幹事より、A会員36名の入会を議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

今後、日病薬シクミネットシステム稼働の会員区分の在り方について、議論した結果、B会員（正会員で埼病薬のみ入会者）、C会員（正会員以外で日病薬+埼病薬の入会者（特別会員））、D会員（正会員以外の埼病薬のみ入会者）についてはそのままの扱いとすることを議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

### 2. 委員の追加等について

各担当委員会委員長より委員の追加、辞任の提案がなされ、議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

#### ・総務委員会（近藤正巳担当幹事）

追加 井上智陽（埼玉メディカルセンター）、

辞任 上野正夫（獨協医科大学埼玉医療センター）、

森田淳介（埼玉メディカルセンター）

#### ・中小病院・診療所委員会（伊藤典子委員長）

辞任 若林純平（埼玉協同病院）、笠原 修（かわぐち心臓呼吸器病院）、

小川桂（埼玉回生病院）

#### ・地域研修部会（新井成俊委員長）

追加 渡邊梨紗（獨協医科大学埼玉医療センター）、

辞任 林仁美（獨協医科大学埼玉医療センター）

#### ・がん領域研修部会（牧野好倫委員長）

辞任 藤堂真紀（埼玉医大国際医療センター）

#### ・妊婦授乳婦・小児科領域研修部会（近藤正巳委員長）

追加 由布朋子（国立埼玉病院）、高橋果歩（県立小児医療センター）

辞任 伊藤幸（草加市立病院）、青木さおり（県立小児医療センター）

#### ・精神科領域研修部会（須田修輔委員長）

追加 水村亮介（埼玉医科大学病院）、辞任 持田良一（鴻巣病院）

### 3. 名誉会員について

町田充会長より北澤貴樹理事を名誉会員としたい旨の提案があり、定款に沿っていることを確認の上、議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。よって、次回の通常総会の議事となることも承認された。

### 4. 2024年度通常総会について

町田充会長より以下について資料に基づいた説明および確認がなされ全員異議なく本件は承認された。

・2024年度通常総会資料の修正なども含めた確認

・当日の役割分担と進行予定説明

第1号議案の一般会務報告は濱浦睦雄副会長、また各委員会・部会の報告「その他」

は町田充会長が担当。

第2号議案は近藤正巳副会長、第3号議案の監査報告は監査者から選出予定。

第4号議案以下は町田充会長。

- ・立候補者の状況報告公開と役員選挙の手順説明。

尚、当日役員選挙後、第1回理事会開催がある旨も伝えられた。

- ・第4号議案

名誉会員の推薦承認

生涯研修センター実施要綱一部改正（以下の協議事項6. にあり）

#### 5. SCPA-Japan 埼玉県支部について

町田充会長より 日本病院薬剤師会経由で、埼玉医科大学脳神経外科栗田浩樹教授からの SCPA-Japan 埼玉県支部設立案内と当会からの担当推薦者依頼の説明があった。その結果、町田充会長より、当会から江波和憲氏（埼玉医科大学国際医療センター）を推薦者とする旨の提案があり議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

#### 6. 生涯研修センター実施要綱一部改正について

町田充会長より本会担当の第54回関東ブロック学術大会（2024年8月10～11日）ではオンデマンド配信を実施したいこと、これに伴い 埼玉県薬剤師生涯センター実施要綱の第7条を下記のように変更したいため、一部改正が必要であることの説明と提案がなされた。その後議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

第7条(1) 集合研修およびオンデマンド配信型研修では、研修会等終了後、その研修会で指定された成果報告書を提出した者に研修受講単位の付与を行う。ただし、オンデマンド配信型研修においては、研修時間中に提供された複数のキーワードを提出することで、成果報告書の提出に代えることができる。

#### 7. 令和6年度埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業におけるがん教育推進連絡協議会委員について

町田充会長より多田幸子副会長を推薦したいとの説明及び提案があり、その後議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

#### 8. 日病薬第69回通常総会における一般質問・要望事項について

町田充会長より事前に各理事に問いかけたところこれまでに6件の意見が寄せられた。今後さらに精査し自分の方から日病薬に提案したいとの説明があり、その後議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

#### 9. その他

- ・次回第2回理事会開催予定 2024年5月14日（火）集合 19:30～

第3回理事会開催予定 2024年6月18日（火）オンライン 17:30～

以上をもって議事を終了したので、議長は19時10分閉会を宣した。

## 令和6年度 第2回 理事会議事録

開催日時：2024年5月14日（火）20：00～20：20

開催場所：ソニックシティビル6階603会議室

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

理事定数：15名以上20名以内（理事現在数20名）

出席者：理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井亘、新井真澄、  
池上幸子、伊藤典子、井上雅美、奥富秀典、金子智一、須田修輔、田村賢士、  
中田和宏、日比徹、星野真之、眞壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛（以上20名）  
監事 岸野亨、齋藤恭子  
事務局 中村房子、金子久代

### 議事の経過の要領及びその結果

I 議長選出 町田 充を全員一致で選出した。

#### II 報告事項

##### 1. 2024年度通常総会について

先刻 2024年度通常総会が無事終了した。

選挙で理事20名、監事2名が当選した。

#### III 審議事項

##### 1. 会長の選定について

町田 充議長より会長の立候補、推薦の有無が呼びかけられたところ、町田 充理事より立候補の発言があった。その後出席理事の挙手による採決を行い、下記のとおりの結果をもって、町田 充理事を会長に選定した。

町田 充理事 得票数 20

会長（代表理事）町田 充

なお、被選定者は、即時就任を承諾した。

##### 2. 副会長の選定について

町田 充議長より副会長の立候補、推薦が呼びかけられ、町田充会長より、近藤正巳理事、多田幸子理事、濱浦睦雄理事の副会長推薦があり、全員異議なく承認し、決定した。  
なお、被選定者は、即時就任を承諾した。

##### 3. その他

町田 充会長より次回理事会開催予定を2024年6月18日（火）17：30～

オンラインとする提案があり、議場に承認を求めたところ、全員異議なく承認し、可決した。

以上をもって議事を終了したので、議長は20時20分閉会を宣した。

●●●●●●●●●●●●●●●●  
 委員会開催報告  
 ●●●●●●●●●●●●●●●●

2023 年度 第 3 回総務委員会

開催日時	2024 年 2 月 29 日（木）19 時～19 時 15 分
開催場所	WEB 開催
出席者	近藤正巳、松沼篤、大木崇弘、森田淳介、田村賢士、池上幸子 欠席：猪股ふみ子、北澤貴樹、曾我部直美、坂上洋子、上野正夫、佐々木茂樹、永野浩之、須賀宏之、中村房子、金子久代
協議事項	第 13 回生涯研修センター全体会の後で実施 < 2024 年度 > 活動のポイントは大きく 2 つ ○ 5 月 14 日通常総会及び役員選挙がある。選挙管理人は決定済み。 総会の議長等は今後決めていく。 ○ 8 月 10 日・11 日開催の日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会の運営担当（懇親会も含め）となっている。学術大会の実行委員会には、田村先生、松沼先生、池上が委員として所属している。今まで、プログラムの編集委員会がメインで動いていたが、今後運営委員会の打ち合わせが入ってくる。運営方法の情報が入り次第、総務委員へ展開していく。 < 2023 年度 3 月 > ○ 3 月 12 日の臨時総会（WEB 開催）は議長が松沼先生、発声は森田先生で執り行う。 < その他 > 森田先生が 4 月から異動になるので、3 月で総務委員会の委員活動は終了となる。後任は埼玉メディカルセンター内で選定中。
次回開催予定	未定
文責者	池上幸子



令和6年 新年会 報告書

開催日時	令和6年1月16日(火) 17:00～19:30	
開催場所	武蔵一宮氷川神社 呉竹荘	
出席者	総務委員会として 池上幸子、猪股ふみ子、永野浩之、森田淳介、近藤正巳、坂上洋子、田村賢士、曾我部直美、大木崇弘、中村房子、金子久代	
プログラム	<p>司会 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会理事 猪股 ふみ子</p> <p>開会の辞 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会副会長 近藤 正巳</p> <p>会長挨拶 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 町田 充</p> <p>来賓挨拶 埼玉県保健医療部長 表 久仁和 先生</p> <p>一般社団法人埼玉県歯科医師会会長 大島 修一 先生</p> <p>一般社団法人埼玉県薬剤師会会長 斉藤 裕次 先生</p> <p>公益社団法人埼玉県看護協会専務理事 佐藤 啓子 先生</p> <p>一般社団法人日本病院薬剤師会会長 武田 泰生 先生</p> <p>来賓紹介 埼玉県保健医療部薬務課長 岡地 哲也 先生</p> <p>一般社団法人東京都病院薬剤師会専務理事 篠原 高雄 先生</p> <p>公益社団法人神奈川県病院薬剤師会副会長 金田 昌之 先生</p> <p>一般社団法人千葉県病院薬剤師会副会長 飯塚 雄次 先生</p> <p>埼玉県薬事団体連合会会長 鶴田 康則 先生</p> <p>埼玉県女性薬剤師会会長 渡邊美知子 先生</p> <p>一般社団法人埼玉県病院薬剤師会名誉会員 井上 毅 先生</p> <p>一般社団法人埼玉県病院薬剤師会名誉会員 片山 晃 先生</p> <p>懇談</p> <p>閉会の辞 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会副会長 濱浦 睦雄</p>	
準備	<p>● 委員会委員集合 16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・控室</li> <li>・事務局よりの搬入備品 参加者名簿、事務用品など</li> <li>・2階会場準備 舞台正面に新年会の看板 舞台下左手に司会者席 中央に料理配置 来賓席は長テーブル1台 1階受付を張り紙表示、名簿と資料準備。</li> <li>・役割確認 受付、会場、来賓接待、司会、庶務など分担表にて対応</li> <li>・受付手順確認 名簿にチェックを入れ、ネームプレートをつけてもらう。</li> </ul> <p>● 来賓接待 来賓 16:45 に到着 近藤正巳副会長 接待</p>	

本番	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 17：00～ 猪股 ふみ子総務委員会委員司会にて開会</li> <li>● 17：05～ 町田 充会長挨拶</li> <li>● 17：10～ 来賓挨拶</li> <li>● 17：45～ 懇談や名刺交換等</li> <li>● 18：45～ 中締めにて閉会</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">正会員</td> <td style="text-align: right;">3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">一般会員</td> <td style="text-align: right;">66名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">来賓</td> <td style="text-align: right;">14名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">理事・総務委員</td> <td style="text-align: right;">24名</td> <td style="text-align: right;">合計 107名</td> </tr> </table>	正会員	3名		一般会員	66名		来賓	14名		理事・総務委員	24名	合計 107名
正会員	3名												
一般会員	66名												
来賓	14名												
理事・総務委員	24名	合計 107名											
その他	<p>※令和6年能登半島地震募金を行い、本会の経費と合計して3万円を埼玉県庁経由で日本赤十字社に届けた。</p>												
文責者	池上幸子												

## 第1回 選挙管理人会議議事録

開催日時：2024年3月15日（金）18：30～19：00

開催場所：小峰ビル 4階 会議室（ハイブリッド開催）

出席者：選挙管理人 猪股ふみ子、坂上洋子、永野浩之（WEB）、佐々木茂樹（WEB）、  
須賀宏之（WEB）

選挙立会人 齋藤健一（WEB）

陪席 田村賢士（WEB）、池上幸子

事務局 中村房子、金子久代

欠席者：選挙管理人 大木崇弘

選挙立会人 北畑智英

配布資料（事前配布） （一社）埼玉県病院薬剤師会 役員選任規則（平成29年5月16日施行）  
（一社）埼玉県病院薬剤師会 役員選任施行規程（平成29年5月16日施行）  
選挙管理人会議議事録（2022年3月15日、4月20日作成）

### 議事Ⅰ 総会の選挙について検討

- 役員選任規則、役員選任施行規程の理解

事前に配布し、質問はなかった。

選挙管理人と立会人の確認と選挙管理補助者の決定

選挙管理人	委員長 委員	猪股ふみ子（自治医科大学附属さいたま医療センター） 大木崇弘（さいたま市民医療センター） 坂上洋子（獨協医科大学埼玉医療センター） 佐々木茂樹（熊谷総合病院） 須賀宏之（深谷赤十字病院） 永野浩之（埼玉医科大学病院）
選挙立会人		北畑智英（埼玉県済生会川口総合病院） 齋藤健一（埼玉医大総合医療センター）
選挙管理補助者		金子久代（事務局） 中村房子（事務局）

- 選挙までのスケジュールを確認した。

4月1日	役員候補の選挙に関する告示
4月15日	通常総会（5月14日）開催お知らせをホームページに掲載 役員立候補締め切り
4月22日	選挙管理人会議（事務局）書類審査等
4月26日～5月13日	役員候補の選挙に関する状況報告をホームページに掲載
5月14日	通常総会及び役員選挙

- 総会通知および委任状のひな形は従来と同じものを使用する。
- 理事会で選出された選挙管理委員のうち2人、中田和宏先生（越谷市立病院）、田村賢士先生（川口市立医療センター）が委員辞退の連絡があり了解した。

## 議事Ⅱ 立候補者書類についての検討

- ・提出書類の書式は従来と同じものを使用する。
- ・役員候補の選挙に関する状況報告もフォーマットは従来と同じものを使用する。

## 議事Ⅲ 次回会議についての予定

- ・4月22日に事務局で開催する。猪股先生、坂上先生、佐々木先生、須賀先生は参加可能。
- ・選挙管理人・選挙管理補助者で提出書類の確認の上、立候補届の受理を決定する。
- ・役員候補の選挙に関する状況報告を作成し、ホームページに掲載する。
- ・通常総会資料確認、総会運営計画を確認する。
- ・総会司会者進行原稿案、議長進行原稿案、選挙管理人進行原稿案、投票用紙案、委任状枚数表示用紙案、選挙管理人報告案確認する。
- ・選挙当日に使用する投票用紙集計用の Excel 表は、立候補者名を入力した後に田村先生が事務局へ送付する。

## 議事Ⅳ 選挙当日の検討

- ・部屋入口：手指消毒（事務局） 出入口の開放
- ・参加者全員：マスク
- ・選挙受付と流れは従来通り。
  - 選挙の流れの確認
  - 投票後の作業の流れ
    - 用紙開く→揃える→無効と有効の判別→有効に Lot つけ
    - 内容を集計表に記入
    - 合計集計表に記入し合計を出す
- ・状況報告書は会場入り口で参加者に配布する。
- ・目立つ名札、議長、副議長、選挙管理人、を明示する。
- ・会場封鎖、議長が宣言する。その後選管委員長が選挙の話に入る。
  - 封鎖後、議長は出入り口にいてもらう（人が立って形だけとする）。
- ・選挙管理人委員長は立候補者を紹介。
- ・出席過半数について
  - 総会出席の正会員の過半数
- ・備品として修正テープ、ホッチキス（事務局）

※本会議関係者は総会当日印鑑（認印）を持参のこと。

（文責者：池上幸子）

## 第2回 選挙管理人会議議事録

開催日時：2024年4月22日（月）18：30～20：00

開催場所：小峰ビル 4階 事務局

選挙管理人 出席： 猪股ふみ子、坂上洋子、佐々木茂樹、須賀宏之

欠席： 大木崇弘、永野浩之

事務局 中村房子、金子久代

- 配布資料
- ・役員候補の選挙に関する公示
  - ・役員候補の選挙に関する状況報告
  - ・第1回選挙管理委員会議事録

### 1. 議事

#### 1) 選挙における立候補届の確認

2024年4月1日告示に伴い同年4月15日までに立候補届があった書類の確認。→ 22通の届出があった。

#### 2) 書類審査

22通の書類について

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会役員選任規則第7条第8条および第10条、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会役員選任施行規則第3条及び第4条、第5条に基づき審査する。

書類の不備の有無 . . . . .すべて無

候補者としての的確であるか否か . . . . .すべて適格

選挙管理人は以下の候補者についてホームページに役員候補の選挙に関する状況報告を4月26日～5月13日で公開する。（立候補届出順）

状況報告案

〔届出順〕

役職	候補者名	現在の勤務先名
監事候補	岸野 亨 (きしの とおる)	カルガモの家
	齋藤 恭子 (さいとう きょうこ)	埼玉県立循環器・呼吸器病センター
理事候補	濱浦 睦雄 (はまうら むつお)	蕨市立病院
	近藤 正巳 (こんどう まさみ)	埼玉医科大学総合医療センター
	星野 真之 (ほしの まさゆき)	春日部市立医療センター
	池上 幸子 (いけがみ さちこ)	済生会川口総合病院
	井上 雅美 (いのうえ まさみ)	自治医科大学附属さいたま医療センター
	田村 賢士 (たむら けんじ)	川口市立医療センター
	金子 智一 (かねこ ともかず)	川口市立医療センター
	眞壁 秀樹 (まかべ ひでき)	埼玉医科大学病院
	伊藤 典子 (いとう のりこ)	埼玉メディカルセンター
	矢吹 直寛 (やぶき なおひろ)	彩の国東大宮メディカルセンター
	町田 充 (まちだ みつる)	さいたま赤十字病院
	多田 幸子 (ただ さちこ)	獨協医科大学埼玉医療センター
	新井 真澄 (あらい ますみ)	春日部厚生病院

中田 和宏 (なかた かずひろ)	越谷市立病院
新井 成俊 (あらい なるとし)	小川赤十字病院
新井 亘 (あらい わたる)	上尾中央総合病院
奥富 秀典 (おくとみ ひでのり)	防衛医科大学校病院
須田 修輔 (すだ しゅうすけ)	南飯能病院
日比 徹 (ひび とおる)	秀和総合病院
牧野 好倫 (まきの よしのり)	埼玉医科大学国際医療センター

注1：本選挙で当選された理事候補者は2024年度通常総会で承認された後、新理事会を開催し、会長、副会長の役員を選出の上、各役職について2024年5月14日より執務を行う。

注2：本選挙で当選された監事候補者は2024年度通常総会で承認された後、2024年5月14日より執務を行う。以上

3) 選挙についての手順確認 (選任規則第11条)

理事候補者20名、監事候補2名につき総会にて投票を行う。

理事定員15～20名のところ候補者は20名である。

監事定員2名のところ候補者は2名である。

選挙後、各候補者が過半数の得票を得たか確認し、会場に示す。

得票が過半数に達した役員の内定候補者を選出とする。

4) 選出についての確認 (選任規則第2条)

選挙における選出者の確定を行う。

5) 報告についての確認 (選任規則第15条)

前項までの結果を総会に於いて選挙管理人代表が総会議長に報告する。

6) その他

選挙の手順について別紙で詳細を協議した。

(文責 池上幸子)

2023年度 第8回広報委員会

開催日時	2023年12月1日（金）17：30～18：30
開催場所	ZOOM会議
出席者	小村理香、岡田美紗希（リーダー）、佐々木雅大、戸ヶ崎梨香
審議事項	<p>今回は、広報委員会の下部組織である SNS 部隊による会議を実施した。</p> <p>・「LINE の運用」について</p> <p>① 更新または見直し  月1で更新していく。月1でまとめて翌日分の配信行う。  決まった情報は月1で更新、追加情報は臨時で更新していく（期限を設けて、○日までの依頼は○日にまとめてやる等）  配信依頼を受ける窓口を誰にするか。  配信内容やその原稿は、発信を依頼した部署に作成してもらう。  配信元に文面や画像はお願いしたいと考えている。</p> <p>② 管理者  広報委員会、当面は獨協医科大学埼玉医療センター</p> <p>③ 配信する情報  ・県民公開講座、新任薬剤師研修、薬事研修  ・夏期懇親会、新年会（2～3ヶ月前位に日程決まるそうなので依頼受けたら随時）  ・各種アンケート調査等の依頼（アンケートするためのリンクを貼るだけ）  ・会長からの紹介依頼情報、会長からの配信依頼があった場合は会長・広報委員長など窓口を確認する。締め切り日は必ず確認しておく！  ・研修会情報（最低限研修内容、申し込み締め切り日時を記載する）→配信内容のテンプレ作っておいて、題名や日付だけ変えれば配信できるような仕組みを作っておく。「今月は○○」のようなリマインドをつける</p> <p>④ LINE 成果確認について  研修会参加人数の変化（去年と比較して人数が増えたか？）  ホームページ閲覧回数の変化  年1回以上 SNS に関するアンケート調査を会員に実施する  LINE 登録人数</p> <p>⑤ 運用について  ・登録人数（目指せ1000人）  ・まず会員向けに拡散するために広報誌での広報活動を実施する。  →12/19 理事会で承認されれば用意していた URL 載せたい  ・ホームページに掲載→URL や QR コードを載せる、田村先生に依頼？  ・Pitex（4日前までで申し込み終わる）、研修会でアナウンス  →LINE メニュー画面の画像や、実際の使い方なんかの情報を付帯すると興味を持ってもらえるのでは？  ・当初は、フリープランとして、登録人数の増加とともにライトプラン（5000円/月）への加入を検討する。  ・配信時は2人以上で確認する（最終チェックや相談は SNS 担当の4人で行う）</p>

	・LINE 開始直後は広報委員メンバー向けにアンケート行う予定（配信してほしい内容、使いやすさについて）
次回開催予定	未定
文責者	渋谷清

## 2023 年度 第 9 回広報委員会

開催日時	2023 年 12 月 28 日（木）18：00～19：00
開催場所	ZOOM 会議
出席者	多田幸子、渋谷清、中田和宏、香田博、岡田美紗紀、戸ヶ崎梨香
審議事項	<p>前回議事録（第 8 回広報委員会）の確認</p> <p>1 「LINE の運用」について 第 8 回広報委員会（SNS 部隊）議事録に基づいて、下記の内容について承認した。</p> <p>① 更新または見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 で更新していく。月 1 でまとめて翌日分の配信行う。 決まった情報は月 1 で更新、追加情報は臨時で更新していく（期限を設けて、〇日までの依頼は〇日にまとめてやる等）</li> <li>・配信内容の作成 配信内容やその原稿は、発信を依頼した部署に作成してもらう。 配信元に文面や画像はお願いしたいと考えている。</li> </ul> <p>② 管理者 広報委員会、当面は獨協医科大学埼玉医療センター</p> <p>③ 配信する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民公開講座、新任薬剤師研修、薬事研修</li> <li>・夏期懇親会、新年会（2～3ヶ月前位に日程決まるそうなので依頼受けたら随時）</li> <li>・各種アンケート調査等の依頼（アンケートするためのリンクを貼るだけ）</li> <li>・会長からの紹介依頼情報、会長からの配信依頼があった場合は会長・広報委員長など窓口を確認する。原則、月 1 回の配信に合わせる。</li> <li>・研修会情報（最低限研修内容、申し込み締め切り日時を記載する）→配信内容のテンプレ作っておいて、題名や日付だけ変えれば配信できるような仕組みを作っておく。「今月は〇〇」のようなリマインドをつける</li> </ul> <p>④ LINE 成果確認について 研修会参加人数の変化（去年と比較して人数が増えたか？） ホームページ閲覧回数の変化 年 1 回以上 SNS に関するアンケート調査を会員に実施する。 LINE 登録人数として 1000 人（会員数の半分）を目指す。</p>



	<p>⑤ 運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年2月20日の理事会に具体的な運用案を提示し、承認を得て開始する。会員向けへのお知らせは、2024年5月発行の広報誌を予定している。その間、理事の施設で試行的に運用を事前に開始して、各施設からの意見を参考にしていく。</li> <li>具体的な運用案は広報委員会 SNS 部隊が担当する。</li> <li>・当初は、フリープランとして、登録人数の増加とともにライトプラン（5000円/月）への加入を検討する。</li> <li>・LINEの立ち上げ、及び情報受付窓口として必要なメールアドレスは当初、フリーメール（gmail）を活用する（当初、メールアドレスは1つとする）。この件については、今後、総務委員会の田村先生に相談していく。</li> </ul> <p>2 広報誌 2024年1月号の内容について</p> <p>下記の内容で進めることが承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年頭所感・・・町田会長（さいたま赤十字）</li> <li>2. 巻頭言・・・近藤副会長（埼玉医大医療センター）</li> <li>3. 薬局業務紹介・・・国立病院機構 埼玉病院</li> <li>4. 会員のひろば－医療質・安全部会・・・新井理事（上尾中央）</li> <li>5. 学会報告・・・吉川中央総合病院、埼玉石心会病院、春日部厚生 春日部中央総合病院、東松山医師会病院</li> <li>6. 県民のためのおくすり講座の報告 次回、2024年3月開催予定のポスターも掲載する。</li> <li>7. 第30回薬事研修会の報告</li> <li>8. 関東ブロック情報 ポスターを掲載する。</li> <li>9. 第52回薬事衛生大会 受賞者一覧、及ぶ受賞者コメントを掲載する。 受賞者全員からコメントを受取っている。</li> <li>10. 訃報 元埼玉県病院薬剤師会長 建部守先生を偲んで</li> <li>11. 事務局だより等</li> </ol> <p>*広報誌の原稿送付先について</p> <p>今後、原稿ファイルの送付先をグーグルドライブ等のクラウドに変更して、業務の効率化を図っていく。 この準備は、広報委員会 SNS 部隊で検討していく。</p> <p>3 関東ブロック学術大会 シンポジウムについて</p> <p>広報委員会は、シンポジウム4「持参薬・周術期・地域連携」を担当することになり、埼玉医大国際医療センター鍵山先生から服薬情報提供料3、退院時に係る座長の推薦を求められている事が渋谷委員長より、説明があった。結論がでなかったために各施設に持ちかえり、1月早々に候補者を決定することとした。</p>
次回開催予定	未定
文責者	渋谷清

2023 年度 第 4 回薬事運営・実習教育委員会合同会議議事録

開催日時	2024 年 2 月 9 日 19:00～19:15																																								
開催場所	オンライン開催																																								
出席者	<p>担当幹事 濱浦睦雄 副会長                  実習教育委員長 真壁秀樹                  薬事運営委員長 矢吹直寛、                  薬事運営委員会 副委員長 野村淳                  井上雅美、横田敬之、野本祐介、斉藤健一、竹内絵美、清水敦子、逸見和範、                  岡田直子、澤田唯美、中川朗宏、中村綾乃                  欠席者：町田会長、問註所英明、林良行、日比徹（敬称略・順不同）</p>																																								
協議及び報告事項	<p>報告事項</p> <p>☆薬事運営委員会より以下の報告があった。</p> <p>①第 30 回 薬事研修会                  研修会名：第 30 回 埼玉県薬事研修会                  日 時：2023 年 11 月 17 日（金）午後 6 時 00 分から午後 7 時 00 分まで                  会 場：オンライン形式（Zoom）                  プログラム：薬剤師における適切な薬剤選択                  ～病院薬剤師と大学教員の経験を基に～                  日本薬科大学 薬学科実践薬学分野 准教授 石村 淳 先生                  出席者数：52 名 アンケート提出数：37 件（アンケート回収率：71 %）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>議題のテーマについていかに理解できたか？</p> <table border="1"> <tr><th>理解度</th><th>件数</th></tr> <tr><td>とても適切</td><td>27</td></tr> <tr><td>適切</td><td>9</td></tr> <tr><td>やや不適切</td><td>1</td></tr> <tr><td>まったく不適切</td><td>0</td></tr> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>本研修に参加して薬液の投与について理解できましたか？</p> <table border="1"> <tr><th>理解度</th><th>件数</th></tr> <tr><td>よく理解できた</td><td>24</td></tr> <tr><td>理解できた</td><td>13</td></tr> <tr><td>あまり理解できなかった</td><td>0</td></tr> <tr><td>全く理解できなかった</td><td>0</td></tr> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>本研修会の内容について教えることができましたか？</p> <table border="1"> <tr><th>満足度</th><th>件数</th></tr> <tr><td>とても満足</td><td>25</td></tr> <tr><td>満足</td><td>12</td></tr> <tr><td>やや不満足</td><td>0</td></tr> <tr><td>とても不満足</td><td>0</td></tr> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>本研修会で学んだことは今後の業務に役に立ちますか？</p> <table border="1"> <tr><th>役に立つ</th><th>件数</th></tr> <tr><td>大いに役に立つ</td><td>27</td></tr> <tr><td>役に立つ</td><td>9</td></tr> <tr><td>あまり役に立たない</td><td>1</td></tr> <tr><td>全く役に立たない</td><td>0</td></tr> </table> </div> </div> <p>今後取り上げて欲しいテーマをご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GE の在り方について、引き続き、取り上げていただきたい。</li> <li>・ がん関連情報 GE・BS の施設別選定基準など</li> <li>・ その時々々に即したテーマだとありがたいです</li> <li>・ チーム医療における現在の薬剤師の先生方のお取り組みや、医師とのかかわりあい方などに興味があります。</li> </ul>	理解度	件数	とても適切	27	適切	9	やや不適切	1	まったく不適切	0	理解度	件数	よく理解できた	24	理解できた	13	あまり理解できなかった	0	全く理解できなかった	0	満足度	件数	とても満足	25	満足	12	やや不満足	0	とても不満足	0	役に立つ	件数	大いに役に立つ	27	役に立つ	9	あまり役に立たない	1	全く役に立たない	0
理解度	件数																																								
とても適切	27																																								
適切	9																																								
やや不適切	1																																								
まったく不適切	0																																								
理解度	件数																																								
よく理解できた	24																																								
理解できた	13																																								
あまり理解できなかった	0																																								
全く理解できなかった	0																																								
満足度	件数																																								
とても満足	25																																								
満足	12																																								
やや不満足	0																																								
とても不満足	0																																								
役に立つ	件数																																								
大いに役に立つ	27																																								
役に立つ	9																																								
あまり役に立たない	1																																								
全く役に立たない	0																																								

- ・フォーミュラリー、電子処方箋
- ・現場の先生が課題として捉えていること。またその課題に対して製薬メーカーに求めることなどが知りたいです。
- ・後発品の供給停止問題。欠品問題の終着点。
- ・診療報酬で様々な加算があるかと思えます。例えば、「感染対策向上加算」「周術期加算」など、チーム医療に関する内容に大変興味があります。
- ・弊社は、先発品・後発品・バイオシミラーを取り扱っておりますので、後発品の抱える現在の問題点に対しての薬剤師側からの提言等を教えて頂ければと思います
- ・薬剤師の先生方と医師をはじめとした様々な部門との連携の現状、課題等。
- ・濱浦副会長から薬剤師の先生方のタスクシフトというお話がありましたが、タスクシフトの中で薬に関連して何を課題とされているか等お伺い出来ると今後の情報提供に役立つと感じました。

## ②診療報酬研修会

開催日：2024年5月23日（木）19：00～

開催場所：現地もしくはオンライン配信（要検討）

参加費：無料（要検討）

講師：JB 谷澤正明 先生+どなたか（要検討）

→関東ブロックの診療報酬セッションにつなげたい。

## ③3月県民のためのくすり講座の確認

開催日 3月3日：「第26回県民のためのくすり講座」

<今回の取り組み>

- ・埼玉県糖尿病協会の協力
- ・埼玉県内の市町村へのアプローチ  
2/8 現在：16市町村の後援獲得
- ・日本薬科、明治薬科の後援
- ・埼玉県の後援
- ・テレビ埼玉の後援

2023年度 県民のためのくすり講座 タイムテーブル

日時：令和6年3月3日（月曜日）14：00～15：05

場所：オンライン配信：\*\*\*\*\*よりWEB配信

タイムスケジュール

時間

12:30～12:40	10分間	運営チーム集合
12:40～13:30	50分間	接続確認(齋藤先生)、ブレイクアウトルーム作成
13:30～14:00	30分間	出演者接続、最終確認
14:00～14:01	01分間	開会(司会) 質問は受け付けない旨をお伝えする。
14:01～14:05	04分間	開会の辞：埼玉県病院薬剤師会 会長：町田 充
14:05～14:15	10分間	タイトル：「糖尿病には、私たちの正しい理解が必要です」 講演：埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 次長 埼玉県糖尿病協会 常任理事 齋藤 健一 先生
14:15～14:15	00分間	司会
14:15～15:00	45分間	タイトル：「糖尿病はぜいたく病??糖尿病とスティグマを考える」 講演：埼玉医科大学総合医療センター内分沁糖尿病内科 助教 横浜市立大学ヘルスデータサイエンス 研究員 大村 卓士 先生
15:00～15:00	00分間	司会
15:00～15:04	04分間	閉会の辞：埼玉県病院薬剤師会 副会長：濱浦 副会長
15:04～15:05	01分間	閉会(司会) アンケートご協力の依頼
15:05～		予備

15:05 終了予定

配信場所から接続：矢吹、野村、日比（司会）、井上（齋藤先生）

web 接続：大村先生、町田会長、濱浦副会長（齋藤先生）

④来年の県民のためのくすり講座について

10月の開催は中止（関東ブロック学術大会のため）

第27回 県民のためのくすり講座：集合・オンライン配信

<候補日>

3月16日（日）14：00－16：45（相談含む）

3月20日（祝木）14：00－16：45（相談含む）

3月23日（日）14：00－16：45（相談含む）

⑤シンポジウム 診療報酬

【シンポジウム S (診療報酬)】 ※予算 準備委員会に諮る

8月10日(土) 15時45分～16時45分(120分) 第7会場(250席)

シンポジスト①(全般)

浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 部長 川上 純一 先生 ⇒ 依頼予定

シンポジスト②(向上加算)

金沢大学附属病院 薬剤部 部長 崔 吉道 先生 ⇒ 依頼予定

シンポジスト③(薬剤総合調整加算)

蕨市立病院 薬剤科 科長 濱浦 睦雄 先生 ⇒ 承諾

シンポジスト④(がん・薬剤師外来)

上尾中央医科グループ協議会 増田 裕一 先生 ⇒ 承諾

シンポジスト⑤(処遇改善)

東北大学病院 薬剤部 部長 眞野 成康 先生 ⇒ 依頼予定

座長① 埼玉県病院薬剤師会 副会長 多田 幸子 先生 ⇒ 承諾  
(獨協医科大学埼玉医療センター)

座長② 埼玉県病院薬剤師会 理事 牧野 好倫 先生 ⇒ 承諾  
(埼玉医科大学国際医療センター)

上記で検討を進めています。

☆実習教育委員会より以下の報告があった。

1, 質の高い実務実習を維持するためのアドバンスワークショップ

「薬剤師の未来を一緒に描いてみよう! 未来への扉 未来の可能性」の  
開催に関して

日時 令和6年2月18日(日) 13:00～16:00(予定)

場所 城西大学坂戸キャンパス(埼玉県坂戸市けやき台1-1)

定員 30名予定

参加費 無料

参加資格 認定実務実習指導薬剤師であること(有効期限内であること)

申込方法 本会ホームページ>研修会案内>本会研修サイト(manaable)  
からお申し込みください。

申込締切 令和6年2月12日(月・祝) 予定

注意事項 認定実務実習指導薬剤師の更新要件を満たすための更新講習  
には該当いたしません。

【問い合わせ先】(一社)埼玉県薬剤師会 業務第一課 TEL 048-827-0060

2, 次年度ワークショップに関して(開催日確定)

日付 2024年11月23日(土・祝) - 24日(日)

場所 日本薬科大学

規模 3P9S(81名受講)

主催 薬学教育協議会・埼玉県薬剤師会・埼玉県病院薬剤師会

チーフ 未定主催

	<p>次年度は病薬、県薬共に学術大会があるため1回での開催ただし、埼玉県単独ではなく他県からの参加者も入る。また、埼玉県からも他県開催に割り振られる（参加枠はまだ未定）</p> <p>2、次年度の認定実務実習指導薬剤師養成講習会・更新講習会に関して 年2回 開催予定（ワークショップ前及び年明けを予定） 1回は埼玉県病院薬剤師会が主催する予定</p> <p>3、関東ブロック学術大会 教育講演3に関して 8月10日（土） 12時20分～14時10分（90分） 第7会場（250席） 「もしもあなたが臨床研究を学べば 病院薬剤師業務はもっとときめく」（仮） 講師 昭和薬科大学 理事長 渡部 一宏 先生 座長 帝京大学医学部附属病院 薬剤部 部長 安野 伸浩 先生</p> <p>開始時間に関しては協議し委員会として12時20分スタートで打診することになった</p> <p>4、関東ブロック学術大会 教育講演5に関して 8月11日（日） 14時15分～15時15分（60分） 第7会場（250席） 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム —令和4年度改訂版—」（仮） 講師 帝京大学 薬学部 名誉教授 小佐野 博史 先生 座長 埼玉医科大学病院 薬剤部 部長 眞壁 秀樹</p> <p>5、関東ブロック学術大会 シンポジウムEに関して 8月11日（日）9時～11時（120分） 第5会場（210席） シンポジスト①（薬剤師確保） マイナビ 川上 順也 様 シンポジスト②（人材育成・キャリア） 上尾中央総合病院 薬剤部 部長 新井 亘 先生 シンポジスト③（卒後教育） イムス三芳総合病院 薬剤部 部長 大木 稔也 先生 シンポジスト④（実習・就職） 若手薬剤師 ⇒ （募集中） 座長① 埼玉医科大学病院 薬剤部 部長 眞壁 秀樹 座長② 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 部長 矢吹 直寛</p> <p>シンポジスト④（実習・就職）若手薬剤師が募集中であり誰か候補がいたら紹介頂くよう委員に打診された</p>
次回開催予定日 場 所	5月10日（金）16：30－（予定） オンラインもしくは集合
文 責 者	矢吹直寛

2023 年度 第 5 回薬事運営・実習教育委員会合同会議議事録

開催日時	2024 年 2 月 29 日 19:00～19:15
開催場所	オンライン開催
出席者	<p>実習教育委員長 真壁秀樹  薬事運営委員長 矢吹直寛  実習教育委員会 逸見和範、岡田直子、中村綾乃  薬事運営委員会 野村淳、斉藤健一、澤田唯美、竹内絵美、横田敬之、清水敦子、井上雅美</p>
協議及び報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民のためのくすり講座の最終確認を実施</li> <li>・ 診療報酬の研修会 開催日：2024 年 6 月 19 日（水）19:00～  開催場所：現地もしくはオンライン配信（要検討）  参加費：無料（要検討）  講師：JB 谷澤正明 先生 + 誰か・・・（要検討）  → 関東ブロックの診療報酬セッションにつなげたい。</li> <li>・ 関東ブロックのセッション</li> <li>・ 薬事師確保のセッションで若手薬剤師の薬剤師が決まっていないので、募集しております。</li> <li>・ セッションの開始時間は他のセッションと統一</li> </ul> <p>【シンポジウム S（診療報酬）】  8 月 10 日（土）14 時 45 分～16 時 45 分（120 分） 第 7 会場（250 席）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンポジスト①（全般）  日本病院薬剤師会副会長 浜松医科大学医学部付属病院 薬剤部 部長  川上 純一 先生</li> <li>・ シンポジスト②（向上加算）  日本病院薬剤師会理事 金沢大学附属病院 薬剤部 部長 崔 吉道 先生</li> <li>・ シンポジスト③（薬剤総合調整加算）  日本病院薬剤師会理事 蕨市立病院 薬剤科 部長 濱浦 睦雄 先生</li> <li>・ シンポジスト④（がん・薬剤師外来）  上尾中央医科グループ協議会 薬剤部 部長 増田 裕一 先生</li> <li>・ シンポジスト⑤（処遇改善）  日本病院薬剤師会副会長 東北大学病院 薬剤部 部長 眞野 成康 先生</li> </ul> <p>座長① 獨協医科大学埼玉医療センター 薬剤部 課長 多田 幸子 先生  座長② 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 部長 牧野 好倫 先生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度のスケジュールの確認を実施</li> </ul>
次回開催予定日 場 所	未定
文 責 者	矢吹直寛

2023年度 第4回中小病院・診療所委員会議事録

開催日時	令和6年1月30日(火) 18:00～17:10						
開催場所	WEB						
出席者	濱浦睦雄、伊藤典子、新井真澄、大木稔也、 金井紀仁、小林明信、土屋宏二郎、藤元奈央子						
報告事項	<p>① 関東3薬科大学(星薬・明治薬・東薬)「合同業界研究セミナー」への参加 【報告資料1】 令和5年11月4日(土) 10:55～11:35(40分) 小林(NHO西埼玉中央病院) 中小病院のメリットについて 新井(春日部厚生病院) 中小病院のリアルな現場と面白さ 伊藤(JCHO埼玉メディカルセンター) 参加者 学生14名 5年(12)、4年(1)、3年(1)</p> <p>② 埼玉県病薬HPへの会員施設一覧揭示【報告資料2】 ・10月の理事会で承認→HPリンク掲載の許可発送→現在リンクない状態で 揭示(リンク貼りをした一覧は提出済み)</p> <p>③ 第1回WEB研修会開催【報告資料3】 参加申込み33 参加者22 評価3.6(4点尺度) アンケート結果より好評であった 反省点:参加者が少なかった(事前の宣伝・周知に力をいれる) 《開催日時》2023年11月22日(水) 18:30～20:35 【開会挨拶】18:30～18:40 埼玉県病院薬剤師会副会長 濱浦 睦雄 座長 中小病院・診療所委員会 土屋 宏二郎 【一般講演】18:40～19:00 「埼玉県内の薬剤師における病院-病院間・病院-薬局間の連携実態」 イムス三芳総合病院 薬剤部 大木 稔也 先生 座長 埼玉県病院薬剤師会副会長 濱浦 睦雄 【特別講演】19:00～20:30 高齢者の適切な薬物療法と地域連携～ポリファーマシー対策の進め方～ 新潟市民病院 主任 武藤 浩司 先生 【閉会挨拶】20:30～20:35 中小病院・診療所委員会委員長 伊藤 典子</p> <p>④ 2024年埼玉開催の関東ブロックでのシンポジウム企画 【シンポジウムG】地域に広がる・地域で繋がる! ～中小病院で活躍する薬剤師の可能性と連携のカタチ～ 【内容】中小病院の魅力=中小病院・診療所がチカラを発揮できる業務を取り上げます。ポリファーマシー対策や薬剤管理サマリーをはじめとして、地域で継続できる処方支援、医療と介護等の水平連携、地域での機能分担などを織り込みます。ますます広がる薬剤師の可能性と、様々な連携のカタチをみなさんと一緒に考えていきましょう。 【日程】8月10日(土) 12:20～14:20(120分)の予定</p> <table border="1" data-bbox="523 1921 1294 2013"> <tr> <td>座長1</td> <td>濱浦 睦雄</td> <td>蕨市立病院</td> </tr> <tr> <td>座長2</td> <td>伊藤 典子</td> <td>JCHO埼玉メディカルセンター</td> </tr> </table>	座長1	濱浦 睦雄	蕨市立病院	座長2	伊藤 典子	JCHO埼玉メディカルセンター
座長1	濱浦 睦雄	蕨市立病院					
座長2	伊藤 典子	JCHO埼玉メディカルセンター					



	<table border="1"> <tr> <td>演者1</td> <td>武藤 浩司</td> <td>新潟市民病院</td> </tr> <tr> <td>演者2</td> <td>新井 真澄</td> <td>春日部厚生病院</td> </tr> <tr> <td>演者3</td> <td>吉国 健司</td> <td>JCHO 下関医療センター</td> </tr> <tr> <td>演者4</td> <td>東 敬一郎</td> <td>浅ノ川総合病院</td> </tr> <tr> <td>演者5</td> <td>馬場 歩</td> <td>白岡中央総合病院</td> </tr> </table> <p>⑤ その他  日病薬 療養病床委員会（厚労省）老健視察事業  医療法人社団清心会介護老人保健施設かがやきへ現地視察（9/27）。  ※日病薬 高齢者薬物療法に従事する薬剤師のための研修会（2/25）にて、  一般講演の演者として登壇予定</p>	演者1	武藤 浩司	新潟市民病院	演者2	新井 真澄	春日部厚生病院	演者3	吉国 健司	JCHO 下関医療センター	演者4	東 敬一郎	浅ノ川総合病院	演者5	馬場 歩	白岡中央総合病院
演者1	武藤 浩司	新潟市民病院														
演者2	新井 真澄	春日部厚生病院														
演者3	吉国 健司	JCHO 下関医療センター														
演者4	東 敬一郎	浅ノ川総合病院														
演者5	馬場 歩	白岡中央総合病院														
協議事項	<p>① 明治薬科大学合同就職セミナー（WEB）  2月28日◆埼玉県病院薬剤師会 第7ターム（15：00～15：30）  小林（NHO 西埼玉中央病院）中小病院のメリットについて  新井（春日部厚生病院）中小病院のリアルな現場と面白さ  伊藤（JCHO 埼玉メディカルセンター）</p> <p>② 今後の活動について  実地での委員会開催については、目的を明確にして次回以降で検討する  情報共有の場の開催（提供）について（継続協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB 座談会（若手薬剤師も気軽に参加できる場の提供）、施設見学など  ※長野県病薬のネット座談会「中小 web 談話室」などを参考に企画立案</li> <li>・濱浦副会長管轄の「埼玉県中小病院メーリングリスト」を利活用する</li> </ul> <p>③ その他情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回高齢者薬物療法に従事する薬剤師のための研修会  <a href="https://www.jshp.jp/2023koureisha/">https://www.jshp.jp/2023koureisha/</a></li> <li>・認定実務実習指導薬剤師養成研修について  <a href="https://yaku-kyou.org/?page_id=824">https://yaku-kyou.org/?page_id=824</a></li> <li>・令和5年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業 「研修報告会」  <a href="https://www.jshp.jp/2023sotsugo_3/">https://www.jshp.jp/2023sotsugo_3/</a></li> <li>・個別改定項目について（1/26）  <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001197890.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001197890.pdf</a></li> </ul>															
次回開催予定日 場 所	未定															
文 責 者	伊藤典子															

## 埼玉県における感染制御に関する認定取得状況に関するアンケート結果

2024年2月7日

感染対策委員会 近藤正巳

調査期間：2023年11月1日～12月12日

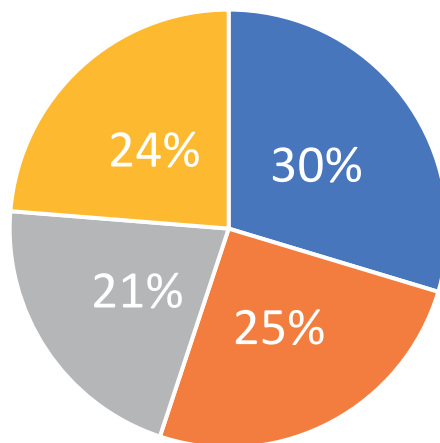
目的：感染領域に関する資格取得状況に関する調査を実施し県内における感染領域に関する資格取得者の把握、各施設との連携や資格取得者間のコミュニケーションの充実を図る

対象施設：埼玉県病院薬剤師会会員施設

回答方法：Googleフォームにて回答

アンケート回収率 40% (120 施設 / 289 施設)

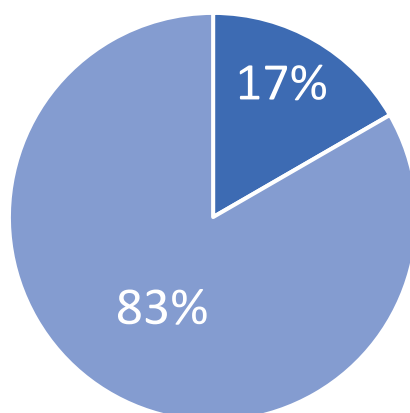
○自施設で感染対策向上加算は算定していますか？アンケートに回答する時点での状況を下記の中からお答えください。



■ 加算1 ■ 加算2 ■ 加算3 ■ 未算定

感染対策向上加算が未算定の施設が 28 施設 (24%) あった。

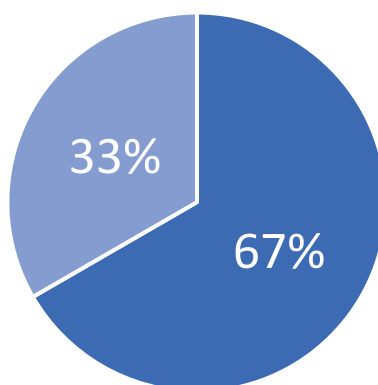
○自施設において感染対策チーム(ICT)は設置されていますか？



■ 設置されていない ■ 設置されている

ICT が設置されていない施設が 20 施設(17%)あった。

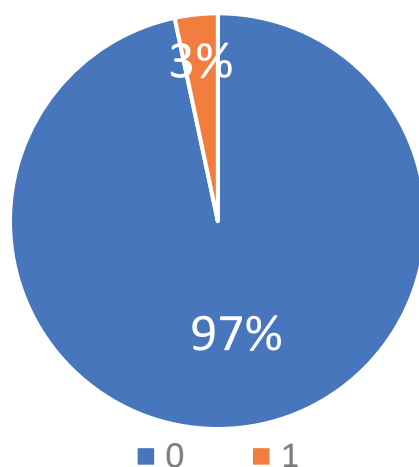
○自施設において抗菌薬適正使用チーム(AST)は設置されていますか？



■ 設置されていない ■ 設置されている

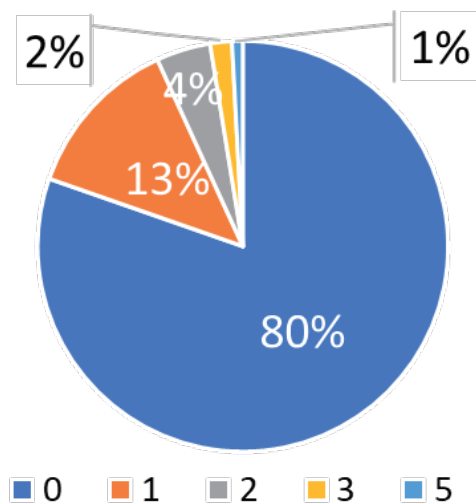
AST が設置されている施設は 40 施設(33%)しかなく、80 施設(67%)では AST が設置されていないかった。

○自施設に「日本病院薬剤師会 感染制御**専門**薬剤師」は何人在籍していますか？



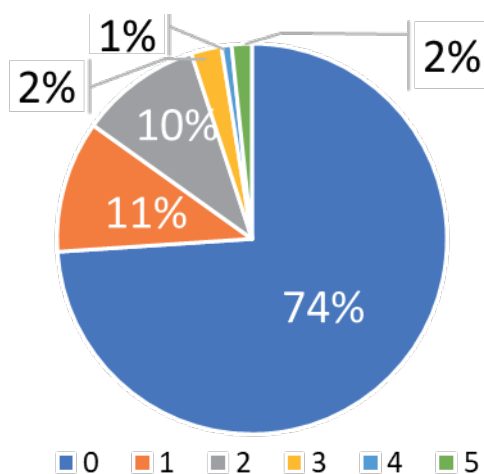
感染制御専門薬剤師が在籍している施設は3施設(大学1施設から在籍と回答があったが除外)のみでそれぞれ1名ずつであった。

○自施設に「日本病院薬剤師会 感染制御**認定**薬剤師」は何人在籍していますか？



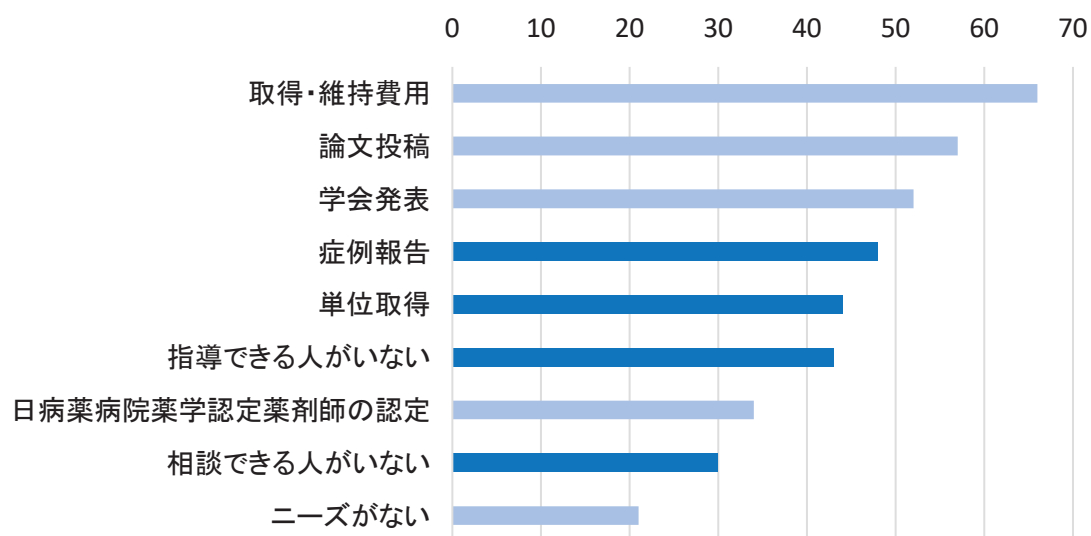
感染制御認定薬剤師が在籍している施設は23施設(19.7%)であった。(1名が15施設、2名が5施設、3名が2施設、5名が1施設)

○自施設に「日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師」は何人在籍していますか？



抗菌化学療法認定薬剤師が在籍している施設は 31 施設 (26%) であった。(1 名が 13 施設、2 名が 12 施設、3 名が 3 施設、4 名が 1 施設、5 名が 2 施設)

○専門・認定取得あるいは維持に際して何か問題点がありますか？(複数回答可)



最も多かったのが取得・維持費用で 66 施設 (55%) であった。

単位取得のハードルも一定数あることから、引き続き単位取得のための勉強会を定期的に開催していくことが望ましいと考えられる。

症例報告 (48 施設、40%)、指導できる人がいない (43 施設、36%)、相談できる人がいない (30 施設、25%) については、今後当委員会としてサポートできる部分と考えられる。学会発表や論文投稿についても将来的には会員にむけてサポートできる体制を検討していくべきと考えられる。

第2回関ブロ学術大会プログラム編集委員会議事録

開催日時	2024年1月18日（木）18：00～19：15
開催場所	オンライン
出席者	近藤正巳、金子智一、星野真之、田村賢士
協議事項	<p>（1）議論の概要</p> <p>昨年末に提出されたセッション企画書をもとに、1月23日に開催される準備委員会に向けてプログラム（案）を作成する。</p> <p>（2）検討内容</p> <p>1）プログラムについて</p> <p>企画書より「依頼する登壇者の予定で曜日指定の希望」「会場の広さ」「担当する部会のタイムスケジュール」を考慮し検討した。その他、個別に検討が必要なものについては以下のように調整した。</p> <p>○妊婦授乳婦小児領域で日本薬剤師研修センター（G01）の対象とするセッションは入退出時にQRコードの読み取りが必要であることから混交を避ける会場設定が必要と考えた。</p> <p>○医療の質安全が担当するセッション4つ全てが初日希望であったため、会場を近くに配置するなど考慮した。新井亘委員は了承済。</p> <p>○スポンサードシンポジウムとして企画していた認知症領域のセッションはランチョンセミナーに変更をお願いする（共催のエーザイは事前了承済）</p> <p>○倫理系のセッションで依頼予定の講師（弁護士）に開催日希望があるか不明。現時点では11日（日）の午前中にスケジュールした。</p> <p>2）会場について</p> <p>○ソニックシティ 6F 会場の配置変更</p> <p>601、602、603、604会場を口頭発表の会場としているが、特にランチョンセミナー前後は大混雑が予想されるため、601、602会議室と905、906会議室の内容を入れ替える案を提出する。</p>
次回開催予定	未定
文責者	金子智一

### 第3回関ブロ学術大会プログラム編集委員会議事録

開催日時	2024年2月6日（火）18：00～19：00
開催場所	オンライン
出席者	近藤正巳、金子智一、矢吹直寛、星野真之、田村賢士 石谷嘉浩（メディセオ）
協議事項	<p>（1）全体スケジュールについて 1月末を締め切りとして各部会・委員会にスケジュールを確認していただき、届いた複数の意見・要望を踏まえてスケジュールの一部を変更した。 準備実行委員会の先生方に承認をいただいた後、実行委員会のメンバーに周知する。</p> <p>（2）学会ポスターについて メディセオ石谷様より先日準備実行委員会のメンバーに送られたポスター改定案について協議し案を作成。準備実行委員会の先生方の承認を頂くためメール送信する。</p> <p>（3）医療倫理の教育後援の枠について 医療倫理の教育後援の枠について、依頼予定の弁護士が受諾いただけない状況となっているが、日病薬病院薬学認定制度（P04）の領域1の分野の単位が取得できる研修会の機会が普段ほとんどないことから、医療倫理の分野の講演はぜひ残したいとの意向で、他の演者を探すなどしたい。</p> <p>（4）日病薬・日本薬学図書館協議会共催からのシンポジウムの打診について 各部会・委員会からシンポジウムの企画を募集し、その中からいくつか希望に沿えなかった企画があったことや、すでにすべてのシンポジウムの枠が埋まっている（すでに当初予定していたセッションから3つ増えている）ことから、通常のシンポジウムや特別講演・教育講演の枠は不可能と判断。 一方、ランチョンセミナーやイブニングセミナーなどが埋まらず、予算的にかなり厳しい状況があることから、イブニングセミナー（90分）の枠なら受けても良いのではとの意見が出された。 イブニングセミナーは250席（共催費：66万円）または500席（現時点では設定なし）で実施が可能で、共催費の他に弁当代（1100円／人。250席規模なら30万円程度。500人規模なら60万円程度）が必要。 今回の打診に対し、共催費はこちらで負担（無料にする）する代わりに、弁当代は先方で負担できないか検討していただき、OKなら250席または500席規模で受けることは可能との結論となる。（第5・第6会場を想定。500席にする場合でも会場の「転換」の時間は確保できそう）</p> <p>（5）学会参加登録の予定について 以下の3つの申し込み区分を予定。事前登録と、直前・当日登録のシステムと、オンデマンドの登録のシステムが違うため、連携についてメディセオ石谷様に再度確認していただく。</p>

	<p>・事前参加登録（現地参加＋後日オンデマンド視聴 or 後日オンデマンドのみで選択）会員 ¥9000、非会員 ¥10000、学生 ¥1000</p> <p>・直前・当日参加登録（現地参加＋後日オンデマンド視聴）会員 ¥10000、非会員 ¥11000、学生 ¥1000（直前・当日の参加費はもう少し高額にしても良いのではとの意見も出された）</p> <p>・会期後（後日オンデマンド視聴のみ）会員 ¥9000、非会員 ¥10000</p> <p>なお、会場参加の定員を守るため、当日参加登録についてもすべてオンライン上で申込・参加費決済を行うようにし、当日会場での現金による受付は原則として行わない。（懇親会の当日申込のみ可）人数制限について、上限に達した場合は当日参加できない。（人数制限を2500人とするのか、3000人くらいにするかについては要検討。）</p> <p>システムの的に上記で問題ないか、メディセオ石谷様の方で確認していただく。</p> <p>（6）高校生や薬科大学の学生の参加について</p> <p>薬科大学の学生の参加については、学生枠を設けており、ランチョンセミナーなど企業共催セミナーについても問題はないと思われる。</p> <p>一方、高校生の「学会参加」については、色々と課題があり、現地参加人数を制限して行う状況を鑑みれば、難しいと考えられる。</p> <p>ただ、2日目の最後の方でポスター示説・閉会式の時間の90分程度の枠で市民公開講座という形で、小ホール（500人規模）で高校生やその保護者を対象に講演会を行うことは可能。</p> <p>ただし、運営のリソースをあまり割きたくないため、近隣の薬科大学などに企画や運営を任せる形でできるなら、やっても良いのではとの意見が出された。</p> <p>会終了後に、小ホールロビーに薬科大学の受験案内等を置ける簡易的なブースの設置などは可能であり、希望される薬科大学もあるのではと考える。</p> <p>（7）パレスホテル4階の控室のキャンセルとソニックシティービル8階の控室確保について</p> <p>ソニックシティービル8階フロアーの全室（801～809）について、当日2日間の予約が取れた。一方パレスホテルの4階の406については無料でキャンセルできた。</p> <p>パレスホテル4階の402～405（控室の予定）について、4月頃までなら無料でキャンセルが可能とのこと。（110万円の会場費圧縮が可能）</p> <p>パレスホテル側の控室をすべてキャンセルすると、登壇者の移動距離が長くなることがどう影響するか。運営がやや面倒になる可能性や中には移動が面倒だと言う登壇者も出てくる？との意見も出され、パレスホテル側の控室を少し残す（402と403の2部屋のみ残す）案なども出された。3月末までには決めていきたい。（予算的な面から要検討）</p>
次回開催予定	未定
文責者	金子智一



第 54 回関東ブロック学術大会 (2024/8/10・11)

第 11 回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024 年 1 月 23 日 (火) 18:00 ~ 20:10
開催場所	小峰ビル 1 階会議室
出席者	事務局：町田充、近藤正巳、多田幸子、新井成俊、金子智一、田村賢士、 矢吹直寛、星野真之、中村房子、金子久代 石谷嘉浩、三草康雄 (メディセオ) 欠席：濱浦睦雄
参考資料	第 54 回関ブロ第 10 回準備実行委員会議事録 (11/14) 第 54 回関ブロ第 2 回プログラム編集委員会議事録 (1/18) 第 54 回関ブロ検討事項一覧 第 54 回関ブロ準備スケジュール 第 54 回関ブロ収支予算案 第 54 回関ブロプログラム 第 54 回関ブロシンポジウム等企画案 第 54 回関ブロセッション企画書 第 54 回関ブロ講演依頼状・応諾書 (非会員用) 第 54 回関ブロ職員派遣依頼状 第 54 回関ブロ企業申込状況 第 54 回関ブロ人員配置数概略表 ソニックシテイ各部屋当配置図、パレスホテル大宮配置図
協議事項	<p>1. 収支案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>趣意書の収支案とは別に実際に近づけた収支案を提示。 イブニングセミナー 5 → 3、企業展示 25 → 20、寄付 500 万円 → 142 万円、 他広告等減らした収支合計 68,873,000 円が現在の支出予定と同額に近くなるため、最低限ここまで集める必要がある。収入が下回ることがあれば、 支出の削減を検討していく。</li> </ul> <p>2. 協賛状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮押さえを含めランチョンセミナーは 6 社、スポンサーードシンポジウムは 2 社、 広告が 9 社の申し込みあり。 まだ、検討中と報告があった、ヴィアトリス、MSD、EA ファーマ、沢井製薬、 マルホ、日本ケミファの申し込みは来ていない。</li> </ul> <p>3. 全体スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般演題募集期間 3 月 11 日 (月) ~ 5 月 15 日 (水)、5 月 22 日まで延長可</li> <li>事前参加登録期間 3 月 11 日 (月) ~ 7 月 8 日 (月)、7 月 16 日まで延長可</li> <li>※一般演題募集にあたりカテゴリーを 2 月中に決定</li> </ul>

	<p>4. 当日運営スタッフ必要人数概算について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第44回大会（前回埼玉）では、約100名/日であった。施設誘導係等削減してもよさそうなものもある。企業からのスタッフも多数いたが、今回は難しいかもしれない。</li> </ul> <p>5. 依頼状（講演依頼状、派遣依頼状）の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演依頼状には、オンデマンド配信の可否も入れておく</li> </ul> <p>6. プログラムに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演BとCの会場入れ替え（矢吹先生の移動を考慮）</li> <li>・一般演題の枠を8枠から6枠へ削減</li> <li>・プログラムスケジュール表のPDFを実行委員へ送る</li> </ul> <p>7. 会場に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター会場を9階から6階へ移動（ランチョンを6階と9階へ分散）</li> </ul> <p>※6階の通路が狭いため動線を考慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パレスホテル406をリリースしてソニックの7階・8階を新たに確保することを検討</li> </ul> <p>8. Dr. JOYの入退室管理システムの利用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する方向で進める</li> </ul> <p>ビーコンシステムのカードは、参加証等と同封し参加者へ発送する（個人との紐付けは当日までに参加者自身で行う）</p> <p>単位申請は、成果報告書の提出を必須にする（ログはDr. JOY）</p> <p>G01と緩和領域は、現地参加者のみ単位発行（申し込みフォームに会員番号入力必須）</p> <p>9. 宿泊手配に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・招待者用にパレスホテルシングルを各日20室押さえている（キャンセル料発生時期を確認し、減らすことも検討）</li> <li>・スタッフ用の宿泊は自腹となるため、各自で確保する方向（会長、三役分のみ大会で確保しておく予定）</li> </ul> <p>10. 懇親会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケータリング申し込み人数は、実参加者数の必要あり（数人程度増える分には当日対応可とのこと）</li> <li>・ケータリング最低発注人数は60名</li> <li>・駅弁は会場内での飲食不可（食中毒発生時の検証が困難になるため）</li> <li>・懇親会参加費は8,000円</li> </ul>
次回開催予定	<p>全体会（2月29日） 第12回準備実行委員会（3月5日）</p>
文責者	近藤正巳

第12回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024年2月13日（火）18：00～20：00
開催場所	オンライン会議
出席者	事務局：町田充、近藤正巳、濱浦睦雄、金子智一、田村賢士、矢吹直寛、 星野真之 石谷嘉浩、三草康雄（メディセオ） 欠席：多田幸子、新井成俊、中村房子、金子久代
協議事項	<p>1. プログラムスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登壇者の都合等により入替を実施。</li> <li>10日の教育講演（第8会場）の開始時間を他のセッション開始時間に合わせることにする。</li> <li>特別講演1の「倫理」に関して、継続して演者を探していく（大学の先生へ声がけしてみる）</li> <li>プログラムスケジュールが確定したら各座長・演者へ招聘状を作成・発送していく。</li> </ul> <p>2. ちらしについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始日の曜日および時間を削除（締切日の曜日は残す）</li> <li>・締切日のフォントを大きくする</li> <li>・事前参加登録の下に「現地参加・後日オンデマンド視聴」を追記</li> <li>・3つの登録関連に、下部の彩の国さいたま同様の色を振り分ける</li> <li>・上記修正版を16日（金）までに実行準備委員へ送る</li> </ul> <p>3. 協賛企業に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みを受領都度、協賛リストを更新し実行準備委員へ送る</li> <li>・上記リストを実行委員へ送る時に、各部会の状況を確認する</li> </ul> <p>4. 参加登録システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前参加登録、直前・当日参加登録、会場開催後オンデマンドのみの参加登録の3つを用意する予定</li> <li>・直前当日参加登録を減らしたい（参加証やビーコンの配付で混雑を避けるため）ため、事前参加と金額の差をもう少し大きく（2,000円～3,000円）したい（町田会長から関ブロ事務局へ確認する）</li> <li>・会場参加人数枠を2,500名から2,800名にする。様子次第では3,000名にする</li> </ul> <p>5. 高校生の参加に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11日（日）の小ホール最後の枠であれば設定可能</li> <li>・マイナビとの共闘は、先方に収益が出ないため厳しい</li> <li>・講師は病院薬剤師を希望されている（大学の先生ではない）</li> <li>・大学を通して高校へ声がけしてもらおう方向が良いと思われる</li> </ul> <p>※実施するかは保留とする</p>

	<p>6. 控室に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パレスホテルの4階4部屋に関しては、プログラムの状況を踏まえ0～2部屋程度に減らす方向（キャンセル料発生を考慮し3月末までに判断する）</li> <li>・上記に関して、使用の場合でも10日（土）だけで良い</li> </ul>
次回開催予定	未定
文責者	近藤正巳

### 第13回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024年3月5日（火）18：00～20：00
開催場所	小峰ビル1階会議室
出席者	事務局：町田充、近藤正巳、多田幸子、新井成俊、金子智一、田村賢士、矢吹直寛、星野真之、中村房子、金子久代 石谷嘉浩、三草康雄（メディセオ）
協議事項	<p>1. 協賛について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛助会員以外の企業への趣意書発送 リストに記載のある49社へ趣意書を発送する</li> <li>・大宮周辺の企業へ大会長、実行委員長で挨拶回りを検討</li> <li>・申込が1社でも増えたら実行準備委員へ都度報告する</li> </ul> <p>2. チラシ印刷部数に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記部数にて印刷する A3：2,000部 A4：1,000部 A2：10部</li> <li>・1都9県の関プロ会員施設（3年前のリスト使用）へA3と募集案内を送る</li> <li>・1都9県の薬学部へも送る（ネットで検索）</li> <li>・賛助会員以外の企業にもチラシを配布する。リストは近藤先生が提供。発送はメディセオにお願いする。</li> <li>・都病薬事務局へ関東圏の各県病薬へのポスター配布をお願いする。</li> <li>・日病薬誌へのポスター掲載をお願いする。</li> </ul> <p>3. 開会式に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来賓3名予定、別途大野知事へ再打診 日病薬武田会長・埼玉県薬齊藤会長・日薬会長・本田あき子議員等</li> </ul> <p>4. 物産展に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場内への出店はスペース的に厳しいため、ソニックシティ2階の埼玉県物産観光館「そびあ」を利用してもらう 日曜祝日休みのため、11日（日）を営業していただけるか交渉する ※翌日埼玉県物産観光館事務局へ連絡、検討いただけるとのこと</li> </ul>

	<p>5. 依頼状に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月16日(土)を目途に企画書(登壇者)をメディセオ石谷宛に送ってもらうように案内する</li> <li>上記期限までに確定している分を作成・発送する</li> </ul> <p>6. 各種単位に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集合とオンラインの認定要件の整理必要</li> <li>集合(入退ログ、成果報告書等)</li> <li>オンライン(視聴ログ、キーワード等)</li> <li>・できるだけ同じ運用方法で統一したい</li> <li>・参加登録時には、「研修受講単位」を「希望する」「希望しない」のみ選択する仕様とする</li> <li>・成果報告書は200文字以上で統一方向</li> <li>・研修単位G15、P04、G01は領域による</li> <li>・P04日病薬には専門としてがん、感染制御、精神科、妊婦、HIVがある</li> <li>・学会としては日本緩和医療学会、日本腫瘍学会(JASPO 外来がん治療認定薬剤師)、小児(G01)、日本医療情報学会(医療情報技師ポイント)、日本糖尿病学会(糖尿病療養士1群、2群)、日本褥瘡学会これらについての条件を集合とオンデマンドについて詳細を調べる</li> </ul> <p>7. 参加登録、演題登録システムおよびホームページに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの事前参加登録箇所の文章が長いので、改行して見やすくする</li> <li>・演題種別を田村先生作成のエクセル最新内容へ更新する</li> <li>・一般演題の口頭とポスターを選択する際、「どちらでもよい」の項目はダブル回避のため避ける(希望と違う方になることがある旨記載する)</li> </ul> <p>8. 関係企業などへのあいさつ回り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長・副会長がさいたま市内にある企業や営業所を訪問挨拶する。</li> </ul> <p>9. 要旨集について</p> <p>A5版とし詳細は次回以後に決定する</p>
次回開催予定	4月16日(火)18:00～
文責者	近藤正巳

第14回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024年4月16日（火）18：00～20：00
開催場所	小峰ビル1階会議室
出席者	会議室：町田充、近藤正巳、多田幸子、新井成俊、田村賢士、矢吹直寛、 星野真之、中村房子、金子久代 Web：金子智一 石谷嘉浩、三草康雄（メディセオ）
協議事項	<p>1. 全体スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備スケジュール表通りに進んでいる</li> <li>・納税口座の開設依頼（申請書作成済み）</li> <li>・さいたま観光国際協会より、助成金総額240万円の決定連絡あり</li> <li>・派遣依頼書に関しては、応諾書にて必要とチェックのある方へはほぼ発送済み（一部独自フォーマットや申請方法が必要な施設に関しては、準備が整い次第対応予定）</li> <li>・指定演題要旨作成に関しては、6月上旬〆切予定（本文の文字数は1,000文字以内）</li> </ul> <p>5月末までに各セッションのタイトル、各演者の演題名を決定する</p> <p>2. 協賛企業に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本化薬のランチョンは11日（日）で話を進める</li> <li>・ランチョンは残8枠、イブニングは未だ1社も決まっていない</li> <li>・共催セミナー関係の募集は5月末までなので、引き続き声かけを行う</li> <li>・Dr. JOYには、ランチョン→イブニング→展示の順に交渉してみる</li> </ul> <p>3. 認定単位に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位発行予定のセッションに関して、Dr. JOYのシステムにて参加者の入退出ログ取得と成果報告書（200文字程度）のオンライン提出を条件とする</li> <li>・成果報告書オンライン提出時に希望する単位を選択してもらう（重複取得不可）</li> <li>・糖尿病領域（学会参加証で対応予定）、緩和領域については、別途対応を決める</li> <li>・オンデマンドに関しては、単位発行予定のセッションにて視聴ログの確認および視聴後のキーワード（複数）の正解の2つが確認できた場合に、セッションごとの単位を発行とする。なお、G15認定単位について生涯研修センター実施要綱ではすべての研修結果は成果報告書提出としているのでこれを改定してキーワードでも可とするように次回理事会および通常総会で図ることとする。</li> <li>・現地開催とオンデマンドの同じセッションで重複しての単位取得は不可</li> <li>・埼玉県病院薬剤師会（G15）および日本病院薬学認定薬剤師（P04）の単位申請は、大会事務局がまとめて行う（現地・オンデマンドとも）</li> </ul>

	<p>4. 一般演題の査読に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込期限は5月15日としていますが、5月22日まで延長予定 締め切り後、各部会・委員会の先生方へ査読依頼予定</li> <li>・申し込み状況を定期的に準備委員へ報告する</li> </ul> <p>5. 現地開催当日の運営スタッフに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月上旬頃をめどに必要な人員配置計画案を準備する予定 各部会・委員会の先生方へスタッフとして依頼予定</li> </ul> <p>6. 登壇者、スタッフ等の学会参加申込に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則参加登録が必要 ただし以下の場合は参加登録の必要はない</li> <li>* 関東ブロック1都9県以外から招聘する登壇者（招待者）</li> <li>* 登壇者で該当セッション以外に学会参加されない方</li> <li>* 運営スタッフで担当する業務以外に学会参加されない方</li> <li>・参加申し込みがない（招待者除く）場合は、学会参加不可および単位発行不可となります</li> </ul>
次回開催予定	5月28日（火）18：00～
文責者	近藤正巳

生涯研修センター報告

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第76回評価委員会議事録

開催日時	2024年1月26日（金）18：30～19：30
開催場所	小峰ビル4階 埼玉県病院薬剤師会事務局
出席者	内部委員：大塚潔、濱浦陸雄、中村房子 事務局：金子久代 欠席：内部委員（日比徹、興野克典、新津京介、佐野邦明） 外部委員（安野伸浩、野澤玲子、前田智司、堀野忠夫、真野泰成、大島新司）
配布資料	1. 第75回評価委員会議事録 2. 申請に基づく認定薬剤師適否評価表（4件） 3. 実施要綱（理事会提出案）
協議事項	濱浦陸雄評価委員会委員長より出席委員の確認があった。 [1] 申請に基づく薬剤師認定について（4件） ・事務局より説明。 認定申請を1月25日までに4名より受け付けたので審議されたい。 ・受付No641 水村葉瑠奈、申請36単位更新1回⇒研修手帳その他確認のうえ承認 ・受付No642 棚山 学、申請40.5単位新規⇒研修手帳その他確認のうえ承認 ・受付No643 萩原瑛里香、申請33.5単位更新1回⇒研修手帳その他確認のうえ承認 ・受付No644 大島千佳、申請32単位更新2回⇒研修手帳その他確認のうえ承認 上記4人について委員会として申請に基づく認定薬剤師適否判定表に沿って審議し、4名承認とした。 [2] その他 2024年度より研修センター名称を「埼玉県薬剤師生涯研修センター」として運営していく予定。それについて以下の文書を再確認した。 埼玉県病院薬剤師会定款細則 薬剤師研修手帳第4刷表紙 薬剤師研修手帳第4刷目次 研修認定薬剤師制度について 研修認定薬剤師制度への参加から認定・登録までの手順 研修手帳の記入について 単位集計表 生涯研修センター会則 研修認定薬剤師制度実施要綱 書類様式1～9 ホームページについて 覚書 今後はこれらの文書について次回理事会及び総会での変更承認を得たうえ、



	<p>「埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター」は「埼玉県薬剤師生涯研修センター」として再スタートする予定である。</p> <p>[3] 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の3月の評価委員会、2月の3役会・理事会、2月29日（火）全体会、3月臨時総会と滞りなく進めたい。</li> </ul>
次回開催予定	2024年3月19日（火）
文責者	大塚潔

### 第77回評価委員会議事録

開催日時	2024年3月19日（火）18：30～19：30
開催場所	小峰ビル4階 埼玉県病院薬剤師会事務局
出席者	<p>内部委員：大塚潔、濱浦睦雄、中村房子</p> <p>事務局：金子久代</p> <p>欠席：内部委員（日比徹、興野克典、新津京介、佐野邦明）</p> <p>外部委員（安野伸浩、野澤玲子、前田智司、堀野忠夫、真野泰成、大島新司）</p>
配布資料	<p>1. 第76回評価委員会議事録</p> <p>2. 申請に基づく認定薬剤師適否評価表（3件）</p>
協議事項	<p>濱浦睦雄評価委員会委員長より出席委員の確認があった。</p> <p>[1] 申請に基づく薬剤師認定について（3件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より説明。</li> <li>認定申請を3月19日までに3名より受け付けたので審議されたい。</li> <li>・受付No645 伊地山悦子、申請86単位更新4回⇒研修手帳その他確認のうえ承認</li> <li>・受付No646 小澤祐介、申請30単位更新1回⇒研修手帳その他確認のうえ承認</li> <li>・受付No647 吉橋 諒、申請31.5単位更新2回⇒研修手帳その他確認のうえ承認</li> </ul> <p>上記3人について委員会として申請に基づく認定薬剤師適否判定表に沿って審議し、3名承認とした。</p> <p>[2] その他</p> <p>今2024年4月1日より本センター名称が「埼玉県薬剤師生涯研修センター」となることが確認された。</p> <p>[3] 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月25日（木）理事会、5月14日（火）通常総会と滞りなく進めたい</li> </ul>
次回開催予定	2024年5月8日（水）
文責者	大塚潔

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第31回総合研修部会議事録

開催日時	2024年2月29日(木) 19:00～19:45
開催場所	オンライン
出席者	金子智一、北畑智英、荒井重人、石川弘人、亀井陽子、木村直也 佐伯文啓、土居努、羽田竜也、平野航、矢島美友紀
協議事項	(1) 埼玉県薬剤師会学術大会 査読メンバー選出 以下の2名に願います。 土居 努 先生(やしお薬局) 荒井 重人 先生(永寿総合病院)  (2) 生涯研修センター研修会実施予定 関東ブロック学術大会までは各部会で計画する研修会は最小限とする予定。 秋以降の新任薬剤師研修会や学術大会は予定どおり。  (3) 関東ブロック学術大会での当部会の役割 現時点では受け持つシンポジウムはないが、口頭発表会場の運営などにあ たることが想定されている  (4) 関東ブロック学術大会の全体会での説明の補足
次回開催予定	未定
文責者	金子智一

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 39 回 地域研修部会議事録

開催日時	2024 年 2 月 2 日（金）18：30～19：30
開催場所	株式会社ツムラ埼玉営業所
出席予定者 （敬称略）	委員長：長谷部忠史、新井成俊 東ブロック：鈴木忠徳、新井真澄、林仁美 西ブロック：鍵山智樹、黒下龍二、唐澤匠太 北ブロック：吉田正和 中央ブロック：浦田晃子、木村好伸、加藤綾乃、林野守将
報告及び 懸案事項	<p>▷ 2023 年度開催結果</p> <p>◎ブロック合同研修会（集合研修会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 2023 年 7 月 14 日（金）19：00～20：30 現地開催</li> <li>・会場 ソニックシティー会議室 602</li> <li>・総合評点：3.8（4 件尺度）</li> </ul> <p>『シンプルでわかりやすい指導記録の書き方 ～ SOAP の記載のコツ 実践編～』 明石医療センター 薬剤科長 寺沢 匡史 先生 座長：加藤 剛先生、質疑担当：唐澤 先生</p> <p>◎第 36 回地域ネットカンファレンス（オンライン研修会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 2023 年 11 月 15 日（水） 18：30～20：00</li> <li>・WEB 開催</li> <li>・総合評点：3.5（4 件尺度）</li> </ul> <p>『実際の論文で統計解析の使われ方と結果の解釈を分かりやすく紐解く』 株式会社データシード 吉田 寛輝 先生 座長：唐澤先生、質疑担当：木村 先生</p> <p>▷今後の予定</p> <p>来年度の各研修会は 8 月に関東ブロック学術大会が開催されるため、9 月以降に実施する</p> <p>◎ 2024 年度研修会開催計画について</p> <p>ネットカンファ、スキルアップ講習会、ブロック研修会を予定する 2 月 29 日の埼玉県病院薬剤師会全体集会で話合えるように各ブロックで、今年度開催した研修会でいただいた評価も参考に何をテーマにするか話し合いを行い、全体集会で決定する</p> <p>▷その他</p> <p>2024 年関東ブロック第 54 回学術大会 地域研修部会担当シンポジウム 進捗状況報告（未定含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムD 持参薬・周術期・地域連携 担当：鍵山、浦田、吉田</li> </ul> <p>地域研修部会、広報委員会、中小病院診療所委員会 共同開催</p>

・8月11日(日)9:00～11:00 第8会場(ローズルーム中)

座長1	鍵山智樹	埼玉医科大学国際医療センター	
座長2	渋谷清	北里大学メディカルセンター	
演者1	鍵山智樹	埼玉医科大学国際医療センター	入院支援、術前外来の取り組み(仮)
演者2	川口論	望星北浦和薬局	連携指示を受けた保険薬局の取り組み(仮)
演者3	小林睦之	自治医科大学附属さいたま医療センター	入院後、術中、術後管理(仮)
演者4	田中雄大	埼玉石心会病院	術後管理、術後疼痛管理(仮)
演者5	齋藤健一	埼玉医科大学総合医療センター	退院支援(仮)

・シンポジウムK「薬剤師としてのアセスメント力を高める」

担当：長谷部、岩崎、鈴木

地域研修部会、特別対策部会 共同開催

・8月10日(土)12:20～14:20 第9会場(ローズルーム西)

座長1	寺沢匡史	社会医療法人愛仁会 明石医療センター	
座長2	長谷部忠史	自治医科大学附属さいたま医療センター	
演者1	安達明央	聖路加国際病院	どうする薬剤管理指導(仮)
演者2	小串興平	IMSグループ 医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院	薬剤ポリファーマシー対策におけるテンプレートを活用したアセスメントについて(仮)
演者3	木村正彦	自治医科大学附属さいたま医療センター	腎機能を共通目線で評価しよう!(仮)
演者4	寺沢匡史	社会医療法人愛仁会 明石医療センター	薬剤師の評価(アセスメント)の記載のコツ

・スポンサードシンポジウム4 「先行事例に学ぶ、医療現場でのデジタル技術の活用(仮)」 担当：木村、他数名受付担当(医療情報技士単位申請)

・8月11日(日)13:00～15:00 第8会場(チェリールーム東)

座長1	木村好伸	JCHO埼玉メディカルセンター	
座長2	柴崎淳	北里大学メディカルセンター	
演者1	小枝伸行	八尾市立病院	電子処方箋の導入、運用の実際(病院)
演者2	調整中 (石畑先生)	とまと薬局(千葉県旭市)	電子処方箋の導入、運用の実際(薬局)
演者3	高橋正明	つくばセントラル病院	医療安全とIT、システム(仮)
演者4	若林進	杏林大学医学部付属病院	医薬品情報とIT、システム(仮)

スポンサー選定中

◎生涯研修センター全体会議

開催日：2024年2月29日 18時-19時 ZOOM開催 URLは後ほど転送

関東ブロックにもふれますのですべての委員会の方に参加をお願いします

(事務局より)

次回開催予定日  
場 所

未定 関東ブロック学術大会後を予定

文責者

新井成俊

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第40回 地域研修部会議事録

開催日時	2024年2月29日(木) 19:00～19:50
開催場所	WEB開催(研修センター全体会終了後)
出席予定者 (敬称略)	東ブロック:新井真澄、林仁美 西ブロック:鍵山智樹、黒下龍二、唐澤匠太、加藤剛 北ブロック:岩崎充、磯田明宏、吉田正和 中央ブロック:浦田晃子、木村好伸、井上朋子、加藤綾乃、林野守将 委員長:新井成俊
報告及び 懸案事項	<p>▷関ブロ準備状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムD(鍵山委員より)</li> <li>シンポジスト5名が決定した</li> <li>・シンポジウムK(新井より)</li> <li>シンポジストは4名</li> <li>シンポジウムのタイトルを「アセスメント」から「薬剤管理指導」へ変更した(2/14依頼済み)</li> <li>・スポンサードシンポジウム(木村委員より)</li> <li>シンポジスト4名(3名が決定)</li> </ul> <p>医療情報技師の単位申請を行っているがメーカーが共催すると単位申請が出来ないことが判明した。通常のシンポジウムに代わる可能性あり それぞれの企画書が完成したらまとめて各委員に配付する</p> <p>▷今後の予定</p> <p>◎4ブロック合同研修会</p> <p>9月中旬に外用剤セミナーを北/西ブロック、東/中央ブロックのそれぞれで開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師:佐々木研究所 大谷道輝先生</li> <li>・内容:ハンズオンセッションで精製度の異なる各種ワセリンとヒルドイドクリームの異なる製法の製剤について学ぶ</li> </ul> <p>◎ネットカンファレンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2024年11月予定 WEB開催</li> <li>・講師:井手口直子先生</li> <li>・内容:コミュニケーション領域</li> </ul> <p>◎スキルアップ講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2024年度中(2025年1～3月)</li> <li>・講師:骨粗鬆症リエゾンチームで活動している薬剤師</li> <li>・内容:チームでの薬剤師の役割・活動について</li> </ul> <p>▷第57回日薬学術大会査読委員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域研修部会から</li> <li>浦田晃子委員、加藤綾乃委員を推薦する</li> </ul>

	<p>▷関東ブロックの査読委員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼の有無は未定だが地域研修部会から推薦委員を予定しておく 加藤剛委員、井上朋子委員、吉田正和委員</li> </ul>
次回開催予定日 場 所	未定
文 責 者	新井成俊

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第7回 特別対策委員会議事録

開催日時	2024年2月29日 17:00～17:35
開催場所	オンライン会議
出席者	原竜太郎、福田真人、小俣香菜、石崎均
協議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・2024年度関東ブロック学術大会における、シンポジウムについて意見交換を実施した。</li><li>・当部会が担当する心不全関連のシンポジウムにおいて、現在3名の演者を獲得しているが、薬局薬剤師の適任者が見つからない。その3名にてシンポジウムを実施する案もあるが、石崎先生より三郷中央病院の所属長が対応できそうとの意見があり、可能であればお願いしたい旨、了承された。心不全療養指導士の一覧をみても薬局薬剤師の存在は稀有なものであり、現実的に病院薬剤師3名+臨床検査技師1名、計4名での実施を3月中旬目途に検討する。</li><li>・口頭演題の座長は2コマを鈴木先生に承諾を得た旨、報告された。 タスクシフト関連のシンポジウムは原を演者とし、新井先生の部会の中で調整していく旨、説明を行った。</li></ul>
次回開催予定日 場 所	未定
文責者	町田充

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 36 回 専門研修部会（がん部会）議事録

開催日時	2024 年 2 月 7 日（水）18：50～21：05
開催場所	埼玉県病院薬剤師会事務局・大宮門街（おおみやかどまち）レイブックホール 6F
出席者	伊藤剛貴、片山明香、川田亮（事務局） 国吉央城、松谷直樹、○鈴木栄（レイブックホール） 相川晴彦、畠山朋樹、吉川聡美（各病院施設）（○は副委員長）
報告及び 検討事項	<p>&lt;内容&gt; 司会進行：埼玉県立小児医療センター 片山 明香</p> <p>講演①② 座長：深谷赤十字病院 松谷 直樹先生</p> <p>①『がん治療に活かす腎障害患者における薬物療法時の確認ポイント』 東京医科大学病院 薬剤部 竹内 裕紀 先生</p> <p>CKD 患者に薬物療法を行うにあたり注意すべき点は腎機能低下時に血中濃度が上昇するため用法用量の調節が必要な薬剤があること、腎障害（腎毒性）がある薬剤、腎疾患の病態による薬剤への忍容性の低下に気をつけるべきである。特に特殊な体格の患者ではより影響の少ない腎機能評価法の使用を考慮する。筋肉量が極端に少ない患者、例えばサルコペニア、フレイル、長期臥床患者には mCCr や eGFRcys を使用する。抗がん剤のメトトレキサート、クロファラビン、S-1、白金製剤等は腎排泄性薬剤であり腎機能低下時は注意が必要である。</p> <p>②『こんな症例に出会ったらどう考える？がん薬物療法における腎機能の考え方』 群馬県立がんセンター 薬剤部 藤田 行代志 先生</p> <p>クレアチニークリアランス（CCr）には Jaffe 法と酵素法がある。糸球体濾過量（GFR）には標準化 eGFR と個別化 eGFR がある。具体的な医薬品例を挙げて腎機能低下時の投与について解説があった。S-1 投与時の腎機能評価は根拠となったデータは酵素法 CCr を用いるのが妥当である。カルボプラチンは腎排泄型だが、透析患者でもカルボプラチンは可能である。メトトレキサートによる急性腎障害の発現機序はそのものおよび代謝産物が尿細管や集合管に析出して閉塞や沈着することで腎機能障害を生じる。メトトレキサートの解毒剤として近年グルカルピダーゼが上市された。</p> <p>講演③ 座長：自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部 鈴木 栄先生</p> <p>③『腎障害を来した事例を含めた肺癌の治療戦略』 埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 小山 信之 先生</p> <p>腎障害を惹起する抗がん剤は白金製剤始め多数ある。シスプラチンによる腎障害対策の一環としてショートハイドレーションがあげられる。シスプラチンやオキサリプラチンは有機カチオントランスポーター（以下 OCT2）を開始尿細管上皮に取り込まれ蓄積する。しかしカルボプラチンは OCT2 の輸送を受けないため腎障害を起こしにくい。irAE による腎障害は予後不良因子とされない報告が多く、irAE による腎障害に対しては主にステロイド治療が選択肢となる。</p>
次回開催	第 108 回抗がん剤研修会：2024/11 月予定
文責者	牧野好倫



埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 37 回 がん領域専門研修部会 会議 議事録

開催日時	2024 年 2 月 29 日（木）19：00～19：45
開催場所	オンライン開催
出席者	<p>がん領域専門研修部会 相川晴彦、伊藤剛貴、片山明香、川田亮、国吉央城、○鈴木栄、中山季昭、松谷直樹、吉川聡美（各病院施設、○は副委員長） 欠席：畠山朋樹、◎牧野好倫（◎は委員長） 妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会（妊婦・がん合同シンポジウムの部分のみ参加） 長谷川まゆみ、磨田真理子</p>
報告及び検討事項	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>1. 第 54 回関東ブロック学術大会について</p> <p>1.1. 妊婦・がん合同シンポジウム：AYA 世代がん支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉主体で発信したい思いがあり、埼玉演者が中心で行う。</li> <li>・当日の人員配置は、妊婦授乳婦・小児科、がん領域の両方の委員で対応する。</li> <li>・複数の領域で単位申請を行っている。</li> </ul> <p>1.2. がん部会シンポジウム：地域連携</p> <p>1.3. がん部会シンポジウム：がんと〇〇</p> <p>1.4. シンポジウム全体に関わる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのシンポジウムの登壇者は、メディセオにすでに連絡済み。</li> <li>・全てのシンポジウムは各領域の単位申請済み。 日病薬、がん専門・認定、JASPO、緩和領域で申請 緩和領域は、シンポジウム毎の単位ではなく、学会全体で単位がつく JASPO 申請締め切りは 2 か月半前あたりに企画書送る予定。</li> <li>・単位を取得するための方法は、下記の通り。 現地参加：成果報告 オンデマンド：キーワード 2 つ入力 妊婦授乳婦・小児科は、通常、成果報告書を提出（オンライン提出予定）</li> </ul> <p>1.5. 共催セミナー（ランチョン・イブニング）は、今後必要に応じて働きかける。</p> <p>1.6. 会場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JSMO は、6000 名程度の内 4000 名程度が現地参加だった。</li> <li>・会場について 2000 の集客で大丈夫か心配</li> <li>・関東ブロックの会場に不安が残る。</li> <li>・お盆の時期のため、参加者が想定よりも少ない可能性も考えられる。</li> </ul> <p>2. 第 57 回日本薬剤師会学術大会の査読委員 2 名の選出 がん部会から松谷直樹先生、吉川聡美先生に決定した。</p> <p>3. 2024 年度がん領域専門研修部会の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東ブロック学術大会があるため、4 月、7 月には行わない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年11月第108回（相川班）、2025年2月第109回（伊藤班）に実施予定する。</li> <li>・開催方法：平日開催、完全webで実施する。（オンライン開催）</li> <li>・内容については、これから検討する。 → 各班で案を出す。</li> </ul> <p>4. その他 なし</p>
次回開催日	第108回抗がん剤研修会 2024年11月開催予定
文責者	牧野好倫

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第20回 専門研修部会（感染制御領域）議事録

開催日時	2024年2月29日（木）18：00～19：45
開催場所	オンライン会議
出席者	大澤雄一郎、須賀宏之、本石寛行、奥田拓也、亀田浩介、伊賀正典、大根規正、近藤正巳 欠席：熊倉悠人、泉香里、戸塚香
報告及び検討事項	<p>◆シンポジウムJ： 登壇者確認、各登壇者について話していただきたいテーマについて確認。 本石先生：県病薬委員としての立場として、アンケートや委員会等の活動と今後の展望について 田中先生：日病薬委員としての立場として、認定制度の課題と今後の展望について 唐牛先生：女性薬剤師・ママさん薬剤師として仕事（資格維持）と家庭の両立について 村田先生：中小病院での専門薬剤師取得までの道のりと課題について それぞれ要旨を作成いただく。</p> <p>◆教育講演についてテーマの確認</p> <p>◆3月26日（火）研修会について 現在、奥田、亀田で内容調整中。大宮ソニックでメーカー共催なしで開催する。</p> <p>◆来年度は中外製薬に10月に研修会の共催をお願いできそう。 テーマはβラクタム薬のPK/PDとして演者の候補者を検討していく。</p>
次回開催日	未定
文責者	近藤正巳

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 29 回 実施小委員会－糖尿病領域専門研修部会議事録

開催日時	2024 年 2 月 29 日（水） 19：00 ～ 19：30
開催場所	Zoom 会議（全体会にて）
出席者	担当幹事 多田幸子 委員 瀬尾達朗 清水裕、日比徹
検討事項	<p>1) 関東ブロック大会の糖尿病領域のシンポジウムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師：杉本正毅先生（30 分）</li> <li>患者の立場で、太田 香苗先生（1 型 DM 薬剤師）（25 分）</li> <li>薬剤師の立場で、薬剤師：林 太佑先生（日本医科大学付属病院薬剤部）（25 分）</li> <li>議論（40 分）</li> <li>座長：木村正彦先生、小岩まの先生</li> </ul> <p>最終的に日本くすりと糖尿病学会とコラボする形で報告したい。 認定単位については、P04 と CDEJ は学会参加での（第 1 群薬剤師 パターン I 1-14 2 単位） で報告する。</p> <p>2) 日本薬剤師会の学術大会の査読の委員の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬尾先生と清水先生にお願いすることとしたい</li> </ul>
次回開催日	未定
文責者	日比徹

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第26回 専門研修部会（緩和医療領域）議事録

開催日時	2024年2月29日（木）19：00～19：30
開催場所	WEB開催
出席者	奥田真由美、佐野元彦、島崎洋平、村岡篤、星野真之（敬称略）
報告事項	1）第16回埼玉緩和薬物療法研修会について 2/29現在 37名の申し込みあり。 直前までアナウンスをしていく。
協議事項	1）2024年関東ブロックのシンポジウムについて 開催日時 8月11日（日）9：00～11：00 ローズルーム東 250席 テーマ 「見えてますか？考えてますか？緩和ケアが必要な患者のシームレスな終末期生活」 緩和ケアが必要な患者が病院から在宅へ移行し、終末期を過ごす一連の流れをそれぞれの立場から見た現状や課題についてディスカッションする。 演者 病院薬剤師：奥田 真由美 先生（秀和総合病院 薬剤部） 薬局薬剤師：池田 里江子 先生（ふれあい薬局） 訪問看護師：新泉 真砂子 先生（与野訪問看護ステーション） 在宅医師：齋木 実 先生（HAPPINESS館クリニック） MSW：選出に関して内諾済み（埼玉医科大学総合医療センター） 座長 佐野 元彦 先生（星薬科大学） 星野 真之（春日部市立医療センター）  正式に依頼状が送られたら、一度顔合わせを行い、以降は内容について打ち合わせを行っていく。
その他	2）日薬学会大会の査読依頼について 各委員会、部会より2名の選出依頼があり、緩和からは島崎先生、村岡先生を選出。 今後は関ブロの方でも査読の依頼が来る予定。  来年度の研修会は関ブロ開催後から検討予定。共催メーカーだけは先行して検討していく。
次回開催予定	未定
文責者	星野真之

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 39 回 精神科領域委員会議事録

開催日時	2023 年 9 月 7 日 (木) 18 : 30 ~ 19 : 00
開催場所	オンライン
出席者	石川章 大久保由衣 白石桂子 須田修輔 出川えりか 山下芳江 渡邊康一
検討事項	<p>過去の総合評価 第 44 回 3.3 点 第 45 回 3.4 点 第 46 回 3.6 点 第 47 回 3.5 点          今後の研修会でのテーマについて (過去のアンケート 太字は第 47 回より)</p> <p>1、疾患について          統合失調症、不安障害、睡眠障害、てんかん、自閉症スペクトラム 小児、高齢者、薬物依存、解離性同一性障害 <b>せん妄の特徴またその対処法、認知症パーキンソン病 薬疹 ヘルニア</b></p> <p>2、実務的な内容について          薬薬連携 クロザリル利用促進のための病院間の連携及び調剤薬局との連携          薬歴記載 フィジカルアセスメント、ポリファーマシー、臨床薬学統計 マネジメント 診療報酬 小規模病院における病棟業務実施加算の算定業務を立ち上げ          精神科薬物療法の服薬指導 実際の状況や薬剤師の役割・取り組み、精神疾患患者に対する対応方法 在宅医療における薬剤師の役割 コロナ禍の薬剤師の役割 緩和医療と薬剤師の役割</p> <p>3、薬剤について          薬の比較、小児・高齢者の薬物療法 肝不全、腎不全時の薬剤使用 中枢性抗コリン薬 錐体外路症状への対応 薬剤性嚥下障害 糖尿病患者に対する精神科薬物療法 高齢者の不安障害やうつ症状に対しての薬物療法 精神科薬物療法における適応外使用 クロザピンや LAI 急性期病棟での使い方 在宅での緩和療法 真菌薬</p> <p>4、その他 質疑応答を含んだディスカッションは勉強になった</p> <p>今後の研修会の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 48 回精神科薬物療法研修会 共催メーカー 武田薬品              2023 年 12 月 7 日 (木) 司会 須田修輔 先生 座長 石川 章 先生              講演 1 18 : 45 ~ 20 : 15              「 発達障害について (仮) 」 埼玉医科大学 松岡 孝裕 先生</li> <li>・第 49 回精神科薬物療法研修会 共催メーカー MSD              2024 年 3 月〇日 (木) 司会 須田修輔 先生 座長 次回決定              講演 1 18 : 45 ~ 20 : 15              「 不眠症と身体合併症について (仮) 」 講師 次回決定</li> <li>・第 50 回精神科薬物療法研修会 共催メーカー (未定)              2024 年 6 月頃 司会 須田修輔 先生 座長 次回以降決定              講演 1 ~ 3 18 : 45 ~ 20 : 15              「 未定 」 講師 次回以降決定</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後日本精神薬学会の単位も申請取得できるようにする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は3回開催で、1回は集合研修の方向で検討。</li> <li>・精神科領域の委員を増員したい。</li> <li>・関東ブロック学術大会での事務的な業務には、積極的に協力する。</li> </ul>
次回開催日	年3回くらいを目安に開催（研修会の2週間後を目安に開催）
文責者	須田修輔

### 第40回 精神科領域委員会議事録

開催日時	2023年12月22日（木） 18：30～19：30
開催場所	オンライン
出席者	石川章 大久保由衣 白石桂子 須田修輔 出川えりか 山下芳江 渡邊康一
検討事項 研修会	<p>今後の研修会の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第49回精神科薬物療法研修会 共催メーカー MSD 2024年3月28日（木） 司会 粕谷 聡 先生 座長 須田 修輔 先生 講演1 18：30～20：00 「がん患者・家族のメンタルケアを“睡眠”から考える」 講師 埼玉医科大学国際医療センター 精神科 教授 大西 秀樹 先生</li> <li>・第48回より日本精神薬学会の単位も申請取得可能に。</li> <li>・8月の関東ブロック学術大会が終わるまでは、精神科薬物療法研修会は開催せず、大会のほうに注力する。</li> </ul>
関東ブロック 学術大会 シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科領域シンポジウムについて テーマ「もう怖くない 精神科におけるコミュニケーション」</li> <li>・セッション内容について コミュニケーションを中心とした内容で、医師と看護師兼心理士と薬剤師2名とで、それぞれの臨床から実際の体験や工夫していることについてプレゼンテーションをしていただき、話題提供の後、ディスカッションでシンポジストと会場の参加者とで、意見交換を行い、患者さんとの関係をどのようなコミュニケーションを通して構築していくのか、を考えていく。</li> </ul> <p>座長：住吉病院 理事長 吉尾隆 先生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジストの構成と選定 医師：南埼玉病院 手塚直人 先生 看護師・心理士：埼玉医大の先生 薬剤師：さいたま精神神経センター 出川えりか 先生 薬剤師：南飯能病院 須田修輔 先生</li> </ul>
次回開催日	年3回くらいを目安に開催（研修会の2週間後を目安に開催）
文責者	須田修輔

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第41回 精神科領域委員会議事録

開催日時	2024年2月29日(木) 19:00～19:30
開催場所	オンライン
出席者	石川章 大久保由衣 白石桂子 須田修輔 出川えりか 山下芳江 渡邊康一
検討事項 研修会	<p>今後の研修会の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第49回精神科薬物療法研修会 共催メーカー MSD</li> </ul> <p>2024年3月28日(木) 司会 粕谷 聡 先生 座長 須田 修輔 先生 講演1 18:30～20:00 「がん患者・家族のメンタルケアを“睡眠”から考える」 講師 埼玉医科大学国際医療センター 精神科 教授 大西 秀樹 先生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の関東ブロック学術大会が終わるまでは、精神科薬物療法研修会は開催せず、大会に注力。</li> </ul>
関東ブロック 学術大会 シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東ブロック学術大会 精神科領域シンポジウムについて</li> </ul> <p>テーマ「もう怖くない 精神科におけるコミュニケーション」</p> <p>座長1 吉尾隆 先生(住吉病院 理事長) 座長2 須田修輔 先生(南飯能病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジスト</li> </ul> <p>医師：手塚直人 先生(南埼玉病院 副院長) 看護師・心理士：荒深真衣 先生(埼玉医科大学病院) 薬剤師：出川えりか 先生(埼玉精神神経センター) 薬剤師：須田修輔 先生(南飯能病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門単位取について以下の通り。</li> </ul> <p>日本病院薬剤師会精神科専門・認定単位(120分1単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地</li> <li>・オンライン</li> <li>・オンデマンド</li> </ul> <p>日本精神薬学会認定薬剤師単位(120分1単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地</li> <li>・オンライン</li> <li>・オンデマンド</li> </ul> <p>現地・オンラインで単位申請・取得された方には、オンデマンドでの単位申請は認めないが、現地・オンラインで受講したが単位申請・取得せず、オンデマンドで単位申請した場合は、申請を認め、要件を満たせば取得できる。</p> <p>専門単位の要件については後日、詳細を詰めていく。</p>
次回開催日	年3回くらいを目安に開催
文責者	須田修輔



埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第9回 専門研修部会（妊婦授乳婦・小児科領域）議事録

開催日時	2024年2月29日（木）18：50～19：50 埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター全大会 内
開催場所	オンライン
出席者	青木さおり、伊藤幸、磨田真理子、近藤正巳、武田直樹、長谷川まゆみ、 松村隆、綿野麗未（オブザーバー：油布朋子）（五十音順 敬称略）
議 題	<p>議題1：妊婦授乳婦・小児科領域研修会について</p> <p>令和6年度の妊婦領域・小児領域の研修会開催は、関東ブロック学術大会終了後の9月以降で1つずつの開催を目指すこととし、それぞれの領域で2つ候補の案を挙げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦授乳婦領域 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1候補：「スポーツと生理・妊娠に向けて医療従事者が知っておくこと」 低用量ピルなどの範囲も含めて共催企業、依頼候補者へ打診を検討。</li> <li>第2候補：「緊急避妊薬」 薬局の試験的販売も行われ、今後薬局薬剤師の活躍も考えられる。避妊の分野は妊婦領域に含まれるか確認。</li> </ul> </li> <li>・小児領域 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1候補：「小児慢性心不全について」 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）が適応追加の承認を取得したため、適応追加をメインにしつつ、小児慢性心不全の内容も盛り込んだ内容で共催企業と相談。</li> <li>第2候補：「グルカゴン点鼻粉末剤について」 重度の低血糖発作を起こした際、学校等における教職員の対応方法、小児救急の分野や食育の分野も含めた内容を検討。</li> </ul> </li> </ul> <p>議題2：関東ブロック学術大会について</p> <p>妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会では下記シンポジウムを担当予定。</p> <p>8/10（土） シンポジウム妊婦授乳婦</p> <p>8/11（日） シンポジウム小児科領域、シンポジウム妊婦授乳婦・小児科領域＋がん領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム妊婦授乳婦では伊藤先生、武田先生、松村先生に講演のお手伝いを依頼。</li> <li>・シンポジウム妊婦授乳婦領域＋がん領域では手が空いた妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会委員は応援に向かう予定。</li> <li>・シンポジウム小児領域ではP04の他、G01の単位の受付があるため混乱を避けるために委員の誘導について確認を行う。（受付は武田先生・松村先生、他委員は誘導を行う予定。）</li> </ul> <p>その他確認事項：</p> <p>《日本薬剤師会 学術大会での査読委員選出について》 妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会より 磨田先生、松村先生へ依頼。</p>

	《その他》 2/29 付で伊藤先生ご退会。4 月より油布先生が当研修部会委員に就任予定。 4 月以降、青木先生も当研修部会を辞任予定。次委員候補については後日確認。
次回予定	未定
開催場所	未定
文責者	近藤正巳

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第138回 輸液・栄養管理研修部会 会議

開催日時	2023年10月30日(月) 20:00～21:00
開催場所	WEB会議
出席者	奥富秀典、茂木孝裕、小林睦之、沢辺正和、小林このみ 宮森亜紀子、井上芳洋、鈴木慶介
欠席者	太田天実
138回研修	12/12(火) 18:30～20:15 WEB開催 共催:ベーリンガー 司会・座長:小林(こ) 現地スタッフ(6名) メーカー2名+●● 18:30-18:45 情報提供:オフエブについて 18:45-19:00 栄養療法一問一答:鈴木 呼吸商・PFCバランス 19:00-20:15 講演:呼吸器疾患の栄養管理 タイトル未 演者2名 山川 英晃 先生(さいたま赤十字病院 呼吸器内科 副部長) 40分 井原 佐知子 先生(さいたま赤十字病院 管理栄養士) 20分
139回研修	2月6日(第1火曜)を第一候補 委員主催 テーマ:NSTに関わってよかった症例! 一問一答:小林(睦) 座長:宮森 演者:沢辺先生から 宮森先生の施設から 小林(こ)先生の施設から 講演時間は20～25分程度
来年関ブロ	学会テーマ:彩(いろどり)～さまざまな分野で活躍する薬剤師～ 8月10・11 ★輸液栄養シンポジウム welcome to the world of nutrition 栄養に足を踏み入れたキッカケ 時間:120分 定員200名 初日午後希望 案①新人・若手が栄養療法に踏み入るきっかけとなるようなもの 案②ICU・急性期・回復期・慢性期・老健でのとりくみ 案③私が栄養療法を学んだきっかけ ②をベースに③を講演に組み入れる 演者4名(20-25分/名)+ディスカッション 来年1月までに候補決めて、オファーしていく 候補案はteamsチャットへ 褥瘡関連のシンポジウムも候補に挙がっているが決定していない。
その他	★ランチョンセミナー 大塚製薬工場は難しそう 他のメーカーも検討 候補 吉田貞夫先生:ちゅうざん病院 副院長 金城大学 客員教授 内諾? 新委員候補 AMG 吉川中央総合病院 相良先生 来年2月の理事会で検討
次回開催	未定
文責者	奥富秀典

第 139 回 輸液・栄養管理研修部会 会議

開催日時	2023 年 12 月 21 日 (木) 20:00 ~ 21:20
開催場所	WEB 会議
出席者	奥富秀典、茂木孝裕、沢辺正和、小林このみ、宮森亜紀子、井上芳洋
欠席者	太田天実 小林睦之 鈴木慶介
139回研修	<p>2月6日(第1火曜)を第一候補→2/27(火)に変更          委員主催 テーマ: NST で関わってよかった症例!          案内状の案(別紙あり)          一問一答(15分): 小林(睦) 司会・座長: 宮森          演者① 北里大学メディカルセンター 薬剤部 白幡 真未 先生          短腸症候群への介入          演者② 上尾中央総合病院 薬剤部 本間 晶子 先生          頭頸部がん RT 患者の栄養介入          演者③ 川口市立医療センター 薬剤部 沢辺 正和 先生          静脈栄養への介入          時間: 25分 自施設の NST 紹介+講演 ×3          最後に質疑応答 15分          ●一問一答を含め演題名を1月5日までに          ●招聘状の必要の有無確認          沢辺先生は不要          ●講演の場所は? 本間先生は小林(こ)と自施設から講演          事務局は4名程度          ①司会・座長: 宮森          ②一問一答演者: 小林(睦)          ③演者 白幡先生          ④演者 沢辺先生</p>
次年度 研修会予定	<p>年3回で申請 候補日          5月14(火) フソーで調整予定 テーマ: 未定          ※8月→関ブロあるので研修会はなし          11月12(火) メーカー未定 テーマ: 未定          2月4日(火) (委員主催予定)</p>
新委員候補	AMG 吉川中央総合病院 相良克海 先生 来年2月の理事会で検討
その他	<p>関ブロの準備委員会が1月開催予定。          2/6 研修部会全体会議が開催予定。参加できる委員はソニックへ。</p>
関ブロ	<p>学会テーマ: 彩(いろどり) ~さまざまな分野で活躍する薬剤師~          8月10・11          ★輸液栄養シンポジウム          welcome to the world of nutrition 栄養に足を踏み入れたキッカケ</p>

	<p>時間：120分 定員200名 初日午後希望  演者4名(20-25分/名)+ディスカッション  案①新人・若手が栄養療法に踏み入るきっかけとなるようなもの  案②ICU・急性期・回復期・慢性期・老健でのとりくみ  案③私が栄養療法を学んだきっかけ  ②をベースに③を講演に組み入れる</p> <p>来年1月までに候補決めて、オファーしていく  座長2名 茂木・鈴木  演者候補  ○吉田貞夫先生(医師)  ○橋本寛子先生(コスモ薬局・訪問看護ステーション、薬剤師と看護師のダブルライセンス) 鈴木の同級生です、以前は在宅薬剤管理指導、今は主に訪問看護しています。そうそういないと思います。  ○倉田なおみ先生(薬剤師)  ○牧宏樹先生(薬剤師) JSPEN U45 委員 LLL diploma  ○関東圏外 滋賀医大 神谷貴樹 先生 薬剤師+管理栄養士  ○トヨシマ先生  ○慢性期・矢倉先生 or 沢辺先生 PNDLTs の取り組み  ○委員からも一人 急性期・相良先生  薬剤師・関東圏から声掛けしていく  先ずは牧先生・矢倉先生・相良先生に当たってみる。  茂木→牧先生 沢辺→矢倉先生・相良先生に</p> <p>候補案は teams チャットへ</p> <p>★褥瘡関連シンポジウムも輸液栄養管理研修会の担当となった。  演者は決定している。座長は奥富先生の予定。</p> <p>★ランチョンセミナー  大塚製薬工場は難しそう 他のメーカーも検討  奥富からベーリンガーに打診してみる  候補 吉田貞夫先生：ちゅうざん病院 副院長 金城大学 客員教授 内諾？</p>
次回開催	未定
文責者	奥富秀典

第140回 輸液・栄養管理研修部会 会議

開催日時	2024年2月29日(木) 19:00～19:40
開催場所	WEB会議
出席者	奥富秀典、茂木孝裕、沢辺正和、小林このみ 宮森亜紀子、井上芳洋、小林睦之
欠席者	太田天実、鈴木慶介
次年度 研修会予定	年3回で申請 候補日 5月14(火) フソーで調整予定 テーマ:未定 →開催については他の委員会の開催状況を見て調整する。 ※8月→関ブロあるので研修会はなし 11月12(火) メーカー未定 テーマ:未定 2月4日(火) (委員主催予定)
新委員候補	AMG 吉川中央総合病院 相良克海 先生 来年2月の理事会で承認
関ブロ	<p>★輸液栄養シンポジウム</p> <p>welcome to the world of nutrition 栄養に足を踏み入れたキッカケ 時間:120分 定員200名 8月11日(2日目午後) 演者4名(20-25分/名)+ディスカッション 案①新人・若手が栄養療法に踏み入るきっかけとなるようなもの 案②ICU・急性期・回復期・慢性期・老健でのとりくみ 案③私が栄養療法を学んだきっかけ ②をベースに③を講演に組み入れる</p> <p>座長2名 茂木・鈴木 演者① 牧先生 (公衆衛生・研究・海外経験) JSPEN 薬剤師部委員 JSPEN-U45 委員 演者② 相良先生(急性期・リハ) 臨床代謝専門療法士(周術期・救急集中治療専門) 演者③ 矢倉先生(地域包括・在宅) 臨床栄養代謝専門療法士(在宅専門) 演者④ 神谷先生(超急性期・大学病院・教育) JSPEN 薬剤師部委員 管理栄養士のダブルライセンス 3月に演者とWEB打ち合わせ予定する。</p> <p>★褥瘡関連シンポジウムも輸液栄養管理研修会の担当となった。 演者は決定している。座長は奥富先生の予定。</p> <p>★ランチョンセミナー 大塚製薬工場は難しそう 他のメーカーも検討 奥富からベーリンガーに打診してみる 候補 吉田貞夫先生:ちゅうざん病院 副院長 金城大学 客員教授 内諾?</p>

その他	日本薬剤師会の査読 2名選出して欲しい 査読数が不明のため、可能であれば委員全で均等に割り振る形で申請してみる。 代表者が必要であれば奥富・茂木で申請する。
次回開催	未定
文責者	奥富秀典

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター  
第 39 回 専門研修部会（医療の質・安全部会）議事録

開催日時	2024年2月29日（木）19：00～19：20
開催場所	オンライン
出席者	新井亘 伊藤典子 宇田竜也 鈴木清志 鈴木俊久 土肥大典 （欠席：木村有揮 坂本亮 増田裕一 渡邊幸子）
協議事項	<p>1. 日本薬剤師会 学術大会（埼玉県）での査読委員の選出 各部会へ2名の選出が依頼された。当部会からは、宇田竜也先生、土肥大典先生が担う。 今後、日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会の査読委員の選出も予定され、その場合は他の方々へ打診する。</p> <p>2. 埼病薬誌 Vol.31 No.2 2024 への寄稿 鈴木俊久先生が担当。</p> <p>3. 第 14 回 医療の質・安全研修会（オンライン研修会） 2024年2月15日に実施し、司会や講師を含めて51名が視聴した。 講演資料とアンケート結果はメールで報告した通り。</p> <p>4. 2024年度の関東ブロック学術大会 2024年8月10・11日開催 当部会、ならびにインシデント・アクシデント委員会が企画するシンポジウム・教育講演の座長や演者は下記の通りで確定した。</p> <p>1) シンポジウム 医療の質・安全部会と特別対策委員会の担当 タイトル：薬剤師が関わるタスクシフト、タスクシェアと非薬剤師の積極的な活動（仮） 日時：8月10日（土）12：20～14：20 座長 新井 亘 上尾中央総合病院 飯塚 雄次 先生 帝京大学ちば総合医療センター 演者 塚田 昌樹 先生 上尾中央総合病院 土肥 大典 先生 埼玉医科大学国際医療センター 小倉 弥生 先生 埼玉石心会病院 原 竜太郎 先生 川口工業総合病院 赤羽根 秀宜 先生 中外合同法律事務所 3月11日12時からオンラインにて事前の打ち合わせを行う予定。</p> <p>2) 教育講演 インシデント・アクシデント委員会の担当 タイトル：調整中 日時：8月10日（土）14：45～16：15 座長 渡邊 幸子 先生 演者 重森 雅嘉 先生 静岡英和学院大学短期大学部現代コミュニケーション学科教授</p>



	<p>3) シンポジウム 医療の質・安全部会の担当</p> <p>タイトル：患者安全推進のために薬剤師に求められるノンテクニカルスキルとは</p> <p>日時：8月11日（日）13：00～15：00</p> <p>座長 渡邊 幸子 先生 白岡中央総合病院</p> <p>座長 新井 亘 上尾中央総合病院</p> <p>演者 荒神 裕之 先生 山梨大学医学部附属病院</p> <p>演者 高崎 貴子 様 白岡中央総合病院</p> <p>演者 土屋 裕伴 先生 上尾中央総合病院</p> <p>演者 小林 宏之 様 航空評論家</p>
次回開催予定	未定
文責者	新井亘

事務局だより

## 第 42 回 関東ブロック第 54 回学術大会は大盛り上がりで終了

いよいよ真夏になり 8 月 10～11 日と学術大会本番でした。2014 年から 10 年ぶりの担当県の役目でしたから本会会長や役員を含め会員約 200 名がお手伝いしての大会でした。

開催場所は相変わらず大宮パレスホテル・ソニックシティビルでした。この大会に向け私たち事務局や多くの関係者は実はほぼ 2 年前から準備していました。会場探し、日程調整など基本のことは近年のコロナ渦を見据えてのことで少々大変でしたがこの開催を無事に迎え、お陰様でこの 2 日間を無事に乗り切ったのです。

ということでここでは少し学術大会の概略をお示しします。

現地参加者は約 3000 名、オンデマンド配信希望者は約 300 名。セッションは 43 あり、教育講演・特別講演・シンポジウム・口頭発表・ポスター発表など多岐にわたりました。これらにほとんど薬剤師の研修認定単位を付与するというおまけも付けました。またこの二日間のうちセッションによってはオンデマンド配信を 9 月中に約 20 件行う予定です。そんなこんなで運営管理する事務方としてはこの 2 日間だけでは終わらないわけで次は、開催 2 日間の情報の整理整頓のほか単位付与準備とともにオンデマンド準備にも入っている次第です。

大会 1 日目夕方から行った懇親会が大盛り上がりだったことも特筆すべき出来事でした。実は 1 日目、夕方ポスター発表の示説が終わったところで会場から JR 大宮駅からニューシャトルで移動、鉄道博物館での懇親会でした。お料理はメトロポリタンホテルにお願いし、総務委員会が総力を挙げてご接待。また D51 はじめ各展示列車が喜ばれていましたがそれ以上に実際に列車の汽笛が何度か鳴り、機関車の先頭には武田日病薬会長が機関士の出で立ちで登場したので本人をはじめ見物人の方々も大盛り上がりでとても楽しみました。そんなこんなで本会主催の 2 日間は無事に終了しました。

またこの大会での初の試みは各セッションでビーコンによる存在確認をすることでの研修単位付与と、そのための成果報告書の提出を求めたことがありました。参加者各々が自主的に動き回ってのことですから各人がかなり大変だったと思われます。まずは参加の皆様へ感謝!! そして 9 月 1 か月間のオンデマンド配信結果も含め、本大会のまとめが楽しみです。

(記 中村)



認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ予約登録について

『ワークショップ受講希望の方へのお知らせ』（H 28. 4. 1 HP掲載）に基づいて希望者の予約登録を受け付けます。

講習詳細が決定しましたら予約登録している方々に申し込み順でTELまたはメールにてご都合伺いを差し上げます。

申し込み前の確認事項：申し込み時、本会の会員であること。

現在所属施設に認定実務実習指導薬剤師が不在のため、  
平成29年度からの実務実習が行えないこと。

申し込み時実務経験5年以上

申込方法：埼玉病薬ホームページより下記フォーマットをダウンロードしてFAXまたはメールでお申し込みください。

登録申込先：E-Mail jimukyoku@saibyoyaku.or.jp

(一社) 埼玉県病院薬剤師会 事務局 TEL:048-829-7698 FAX:048-829-7952  
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-24 小峰ビル401

(一社) 埼玉県病院薬剤師会  
実習教育委員会

実務実習指導薬剤師養成講習会予約登録票

申込年月日	令和 年 月 日
参加希望者 (必要事項を記入 または 選択して丸で囲む)	氏名(ふりがな) 性別 生年月日  メールアドレス(PC)(ない場合は住所を記載)  携帯番号 座学聴講状況 受講済 受講未 実務経験年数(本紙提出時) 年 所属施設での職位 部長 主任 係長 その他
所属施設情報	施設名 (病床数 )  住所 〒 TEL FAX 薬剤部門メールアドレス 薬剤部門長氏名
院内の実務実習指導薬剤師数	名
過去の実習生受け入れ状況	( )年(なるべく最新情報で記入のこと) 1期( 名) 2期( 名) 3期( 名)

ただし、予約可能人数には限りがありますのでご了承ください

# 原 稿 募 集

時下 会員の皆様においては益々ご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。常日頃より埼玉県病院薬剤師会の活動にご理解、ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。おかげさまで広報誌の「埼玉病薬」は号を重ねるにつれ、会誌の内容が充実してまいりました。会員の皆様には引き続きご協力をいただき、広報誌の内容を一層充実させるため多くのご投稿をお願い致します。

## \*掲載内容について\*

### <会員のひろば>

特にテーマは設けておりません。日常業務での新しい発見や業務上工夫している内容、学会や研修会に参加した感想・報告、そのほか個人の趣味など仕事に関係あるなしに係らず原稿を募集しています。

### <学会報告>

学会、後援会で使用したスライド、ポスター、要旨、発表原稿、論文などを募集しています。

### <薬局業務紹介>

薬局内の業務で、特に他の施設へ紹介したい自慢できる業務内容や、新しく始めている取組みなどについて原稿を募集しています。薬局全体の紹介ではなく、特定の業務や取組みについて紹介をお願い致します。

それぞれの原稿には写真や図表は自由に入れていただけます。ユニークな原稿の投稿をお待ちしております。

## 原 稿 規 定

執 筆 者 : 会員の皆様どなたでも

原稿レイアウト : 【原稿用紙】 A4判、45字×40行  
(タイトル含む)を原則とする  
【タイトル文字】 12Pt MS ゴシック  
【本文】 10.5Pt MS 明朝  
【余白】 上下 20mm 左右 22.5mm

締 切 日 : ● 2024年11月15日  
発行予定 : 2025年1月  
(Vol.32 No.1 2025)

## 編 集 後 記

この夏、パリでオリンピックが開催されました。日本の金メダル獲得数は史上最も多い回となり、連日選手の頑張りに感動をいただきました。今回のオリンピックで特に印象に残ったのが、柔道で連覇が期待されていた阿部詩選手が2回戦で敗退した後、人目もはばからず叫ぶように号泣されていたことです。会場からは励ましの詩コールが起こっても号泣はやまず、ずっと泣き叫んでいらっしゃいました。私はそれを見て、詩選手がされてきた努力が報われなかった悔しさ、周囲の期待に応えられなかった無念さ全てが伝わる心の叫びのようで大変心を打たれました。

努力をしたからといってもそれが結果に繋がらないことは多々あると思いますが、その努力が報われなかった時に心の底から悔しいと思えば、目標に向けて本当に努力が出来たということではないでしょうか。心の底から悔しがれるほどの努力を一生のうちに何回程出来るのかわかりませんが、目標に向けて全力をつくすエネルギーをオリンピックでいただきました。

K.C.

### 埼 玉 病 薬

Vol. 31 No. 3 令和6年9月

発行者 一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

会 長 町 田 充

住 所 〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 3-12-24

小峰ビル401

TEL 048-829-7698

FAX 048-829-7952

E-Mail jimukyoku@saiibyoyaku.or.jp

印 刷 株式会社 サンアロー

住 所 〒334-0005 川口市里1191-245





抗TFPIモノクローナル抗体 15mg・60mg・150mg:薬価基準収載 300mg:薬価基準未収載

**アレモ<sup>®</sup>皮下注** 15mg 発売準備中 60mg 新発売 150mg 新発売 300mg 発売準備中

**Aihemo<sup>®</sup> Subcutaneous Injection** コンシズマブ(遺伝子組換え)  
 生物由来製品、処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

● 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等については電子化された添付文書をご参照ください。



製造販売元<資料請求先>  
**ノボ ノルディスク ファーマ株式会社**  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1  
[www.novonordisk.co.jp](http://www.novonordisk.co.jp)

JP24AHM00033  
 (2024年7月作成)

